

子どもの不便さ調査

2001年3月

(財)共用品推進機構

はじめに

共用品推進機構では共用品・共用サービスを、「身体的な特性や障害にかかわらず、より多くの人々が共に利用しやすい製品・施設・サービス」と定義し、共用品・共用サービスの普及活動を行ってまいりました。

そして、普及活動のための基礎情報を得る目的で、高齢者や様々な障害者を対象として多くの「不便さ調査」を実施してまいりました。こうした不便さ調査からは、共用品・共用サービスの必要性、どのような領域に共用品が必要なのかといった多くの情報が得られ、共用品・共用サービスの開発や普及に役立ててきました。

共用品・共用サービスの配慮の対象としては、従来から高齢者や障害者を中心に進めてきましたが、それ以外にも左利きの人、外国人、子どもなど配慮すべき対象は多岐にわたっています。特に子どもについては、より安全でありたい、子どもひとりでもできるようにしたいなど、親や先生など保護者の期待があり、共用品・共用サービスの役割も大きいと考えられます。さらに、子どもは力がないことでは高齢者と、背が低いことでは車いす使用者と、といったように他の属性の人との不便さの共通性が多く見られ、様々な身体特性の人への配慮を前提とした共用品・共用サービスを考える上で、重要な対象の一つと思われます。

一方、子どもの不便さは、不便さ自身が学習を通じて成長の機会を提供するという側面を持っている場合があり、注意深く対応を考えていく必要性も指摘されています。

そこで、従来行っていなかった、子どもを対象とした不便さを把握する手がかりを得るためにこの調査が企画されました。

この調査は、子どもの不便さの全体像を明確にするための準備段階の一環として行ったもので、予備調査の性格を持っており、興味深い情報が多く得られることになりました。さらに皆様からのご指摘やご意見をいただき、今後の本格的な調査や共用品・共用サービスの開発や普及のために、活かしていきたいと願っています。

この調査は、日本児童教育振興財団の助成によって実施することができましたこと、また、調査にご協力いただいた多くのご両親、保母さんや先生に感謝申し上げます。

また、本調査は、共用品推進機構 東京会議 子ども班のメンバーの献身的な取り組みによって実施されたことを申し添えます。

平成 13 年 3 月
財団法人共用品推進機構
理事長 鴨志田厚子

目 次

	ページ
はじめに	
調査概要	1
調査結果のまとめ	3
〈 資 料 編 〉	
資料1:グループインタビュー発言録	15
資料2:アンケート質問表	49
資料3:アンケート回答一覧	55
資料4:子どもの不便さと特性の関係	81
資料5:子どもの体の成長と運動能力の推移	95

調査概要

調査目的 本調査は、共用品・共用サービスの対象の1つとして子どもに焦点をあて、子どもが日常生活を送る上での不便さ・危険の概要をつかむことを目的とする。

なお、本調査は、本格的な定量調査のための予備調査としての位置づけを持ち、不便さの傾向と、調査の方向性を探ることを主眼としている。

調査対象 本調査では、「子ども」を3～9歳とする。

調査の際の情報収集では、子ども自身ではなく、子どもと日頃接している人を調査対象者とした。具体的な調査対象者は、3～9歳の子どもの、1. 母親、2. 父親、3. 保育士／幼稚園教諭である。

また、調査対象者の抽出は共用品推進機構個人賛助会員東京会議メンバー等のルートで行った。

なお、子どもの年齢基準は、下限は子どもが自分の身の回りの基本的なことが出来るようになる年齢、上限は身の回りのことを大人と変わらずに出来るようになる直前までを想定している。

まず、下限である3歳という時期は、一般的に自分の頭脳を使って身の回りのことがだいたい出来る「自立の時期」だと言われている。児童福祉法では1歳～就学までの者を幼児期と呼ぶが、更に3歳を区切りとして幼児前期・幼児後期の2つに分けている。

実際「子どもの世話をする」ことを主眼にした育児書の多くが0～2歳児を対象としていること、幼稚園の最年少基準が「3歳児クラス」であること、幼児向け玩具の対象年齢基準の多くが3歳以上であることなどからも、明らかである。また、子育て経験者や保母さん等の話でも、2歳児と3歳児との差は著しく、「3歳になったら急に“赤ちゃん”から“子ども”に変わる」「保育園でのケアも全く違う」という意見が聞かれた。

一方、上限である9歳は、小学校では3年生にあたる。4年生以降になると、「高学年」として、精神面・身体面の両方から自立して「高学年らしく」過ごすことを社会的にも要求され、それにほとんど応えることが出来るようになる時期である。

以上を総合して、子どもの年齢範囲を3歳～9歳とした。

調査方法

調査方法としては、グループインタビューおよびアンケートの2種類を用いた。最初に、母親・父親・保育士ごとにグループインタビューを行い、子どもの「不便さ」「危険」を列挙した。そのグループインタビューで多く事例の出た生活シーンをピックアップしてアンケートの質問票を作成し、より多くの事例を集めた。

各調査の概要は下記の通りである。また、グループインタビューの発言録・アンケート質問票・アンケート回答一覧は、巻末にまとめて掲載した。

①グループインタビュー（場所はすべて コスモ21・座談会ルーム）

内容：子どもの「不便さ」「危険」に関するフリーディスカッション。

個々の内容に関して深く論じることでなく、「不便さ」「危険」を数多く列挙する方向でディスカッションを進めた。

第1回 9月29日(土)10:00～12:00

参加者：3～9才の子どもを持つ母親・6名

第2回 10月14日(土)10:30～12:30

参加者：幼稚園教諭及び保育士・4名

第3回 10月14日(土)14:00～16:00

参加者：3～9才の子どもを持つ父親・2名

②アンケート

内容：グループインタビューの内容を基にアンケート票を作成。

グループインタビューで列挙した「不便さ」「危険」の実例をより数多くあげることが目的とした。

対象：①3～9才の子どもを持つ母親（33名）

② 父親（12名）

③幼稚園教諭及び保育士（17名）

回答時期：2000年10月中旬～11月上旬

回答方法：電子メール・FAX・郵送を用いた記述式

調査実施主体

実施団体：財団法人 共用品推進機構

実施担当：財団法人 共用品推進機構 個人賛助会員の会 東京会議 子ども班

調査結果のまとめ

1. 子どもの不便さ項目

調査では、グループインタビュー・アンケートという2種類の方法によって、子どもの「不便さ」「危険」(以下、まとめて「子どもの不便さ」と記す。)の事例の収集を行った。

それらの事例を、生活シーン・製品カテゴリーごとに整理した結果、主な「子どもの不便さ」として以下のように項目分けすることができた。

場面	項目	主な事例
家の中	階段	階段で転ぶ・滑る・落ちるなど。
	段差	和室・玄関等の段差で転ぶ。昇れない。
	ドア・窓	手をはさむ。開けられない。乗り出して危険。
	風呂場	滑る。シャワー等熱湯の危険。
	洗面台	台が高くて届かない。水をこぼす・飛び散る。
	トイレ	狭い。便器や手洗いが高い。使いにくい。
	台所	高い。包丁・ガス等危険なものが多い。
	机・椅子	サイズがあわない。ぶつける。
	電気機器	電灯スイッチが届かない。勝手に作動。いたずら。
	食事	うまく噛めない。箸やフォークが使えない。
	食品包装	食べ物等の包装容器をうまく開けられない。
	誤飲	薬・細かいおもちゃ・防腐剤等を飲み込む。
	移動	歩行・道路
自転車		主に子どもを乗せる時の危険・不便さ。
電車・駅設備		駅の階段。車内の手すりが少ない。
外出先	トイレ	男性用にベビーベッドがないなど設備不備。
	設備・備品	椅子・水飲み場・公衆電話等が高くて届かない。
保育園等	洗面台	蛇口をうまくひねれない。水が飛び散る。
	トイレ	使いにくい。上手にできない。
	遊具	外遊びの遊具の危険性など。
	おもちゃ・工作用具	はさみ・とがったおもちゃなどの危険性。
	着衣	裏表・前後の区別。ファスナー等できない。
	靴	左右の区別。1人で履けない。
	食事	箸等の使い方。こぼさず食べられない。

* 項目ごとの事例は、巻末資料3の、「アンケート回答一覧」にまとめた。

* 同じ項目でも、生活シーンが違うもの(トイレなど)は、内容が違うためそれぞれ別に記載した。

2. 子どもの不便さの特徴

「子どもの不便さ」の分類項目に関して、以下のような傾向を指摘することができる。

まず、全体的な傾向として、家の中・外出先など、両親から指摘された内容は「危険」に関することと、子どもの身体のサイズにあわないものに対する使いにくさが多かった。「危険」に関することでは、「階段が危険」「刃物が危険」「道路が危険」等で、身体のサイズに関することでは、「洗面台が高い」「電気のスイッチが高い」「外出先のトイレが使いにくい」等である。一方、保育園・幼稚園内に関して指摘された内容は「不便さ」や「1人でできない」ことに関するが多かった。例えば「靴が1人ではけない」「服の裏表が分からない」「使ったものを片付けない」等である。

これは、両親と一緒にいる場合は、多少できないことがあっても両親が手助けするのに対して、保育園や幼稚園など集団生活の場合は、子ども1人に対する大人が少ないため、ある程度自分でできなければいけない、という状況の違いによるものだろう。また保育園・幼稚園の場合、多くの設備が、子ども向けに作られていることとも関係があるだろう。

《両親と保育士／幼稚園教諭との不便さに関する意見の違い》

	両親	保育士／幼稚園教諭
環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・一般住宅 ・外出先 <p>上記は特に子ども向けの配慮をしている場所ではない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園 ・幼稚園 <p>上記は建物の作り・設備等、子どもが生活することを目的とした設計になっている。</p>
危 険	<p>大人にとっては日常でも、子どもにとっての危険が多い。</p> <p>例えば…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段等の滑りやすさ ・柵の低いベランダ ・台所 ・机、家具の角 	<p>子どもにとって危険なことは、なるべく取り除いた環境を作っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベランダに柵 ・角の円い机 ・子どもスペース(育児室)と大人スペースの分離。(危険なものを遠ざけやすい。)
手助け	<p>子どもと大人(自分)が、ほぼ1対1(または2)の関係。</p> <p>多くの場合、子どもができなければ、手助けすることが可能。</p>	<p>10名以上の子どもに対して大人が1～3名くらい。</p> <p>できないことを手助けすることは難しい。</p>

また、特に両親からの意見には、「子どもと一緒に過ごす大人にとっての不便さ」と呼べる内容も数多く見受けられた。例えば、「外出先のトイレで、子どもを座らせておく場所がない」「子どもを前後に乗せて自転車をこぐのが危険・こぎにくい」「駅の階段を降りる時に、ベビーカーを持って降りるのが大変」等である。これらは、子ども自身の不便さとは少し離れるが、子どものいる家庭にとって解決が望まれる不便さである。

以下、主な傾向について、詳しく見ていく。

両親からの指摘で、最も多くの事例があがったのは、家の中に関することである。家の中では「階段や段差が危ない」や「フローリングの床ですべる」など、住宅自体に依存して生じる危険が多かった。特に、洗面台や台所の高さ、トイレの使いにくさなど、子どもが使うことを配慮していない設計に対しての指摘、例えば「高すぎる」「狭すぎる」「チカラが必要」等があった。

また、家の中で、食事に関しては別に設問を設けたが、回答の多くは食品のパッケージに関することだった。例えば子どもに身近な「牛乳パック」「ゼリーやヨーグルトのふた」や「お菓子の袋」が開けにくい、ドレッシングが注ぎにくいなどがあげられる。子ども向けの商品でありながら、手先の不器用さから、子どもが自分で開けることができないという状況が指摘されている。

続いて家の外に関しては、トイレと交通に関する内容が飛びぬけて多かった。まず、トイレに関しては、子ども用設備の不充分さを指摘する回答がほとんどだった。例えば、「和式だと慣れてないので使いにくい」「高すぎる」などである。また、設備面で「男性用トイレにもベビーベットが欲しい」「待っている子どもを座らせておく椅子がない」など、子どもと一緒に出かける大人に対する配慮が少ないことへの指摘も目立った。

次に交通に関しては、危険と不安に言及する回答が目立った。「歩道がない道が危険」「道路を渡るのが危険」「電車内で、子どもがつかまる場所が少ない」「電車とホームの隙間」等である。

一方の、保育園／幼稚園内に関しては、食事・着衣など日常生活に関する指摘と、遊びなど道具面に関する指摘が多かった。食事・着衣に関しては「お箸が使えない」「お弁当箱を上手に包めない」「衣服の前後・裏表、靴の左右が分からない」「ファスナーが一人で止められない」等、最初は1人で上手くできないものの、経験と慣れによってできるようになる内容が多く指摘された。道具面に関しては、「はさみ」「のり」や「遊具」等、使い方によって危険が生じるものに言及した回答が多かった。危険な道具は、多くの場合使い方についてルールを決めて、危険回避の注意をはらっているようだった。

また、保育園／幼稚園では、子どもの理解を助けるための様々な工夫が行われているが、そのほとんどが、「色分け」や「マーク」によるものだった。文字の代替として「色分け」や「マーク」を利用し、「クラス」や「個人」の物の識別、片付ける場所の明示等を行っていた。

3. 子どもの不便さの要因特性

ここまで概観したように、「子どもの不便さ」は、体の小ささによっておこっている事例や、知識不足に関連しているもの等、子どもが持つ様々な特性と関連している。また、「箸の使用」「靴の左右の区別」など、今は不便でもいずれ学習して不便さが解消されるような項目も含まれている。そこで、「子どもの不便さ」事例が、子どものどのような特性に起因しているのか考察したところ、以下の8つに集約された。

なお、各事例とこれらの特性の関連の詳細については、巻末資料4「子どもの不便さと特性の関連」に掲載した。

〈子どもの特性〉

1. 体が小さい…身長が低だけでなく、手足の小ささ・短さ、体重の軽さや
頭の重さのアンバランス等も含む。
2. 力が弱い…腕力・筋力ともに弱い。
3. 体力がない…疲れやすいことも含まれる。
4. 身のこなしが不器用…自由に体を使えない。
5. 手先が不器用…細かい作業ができない。すぐに落としてしまう、など。
6. 注意力散漫…注意が不十分な場合と、注意自体を行っていない場合の両方がある。
7. 好奇心旺盛…興味を持って自ら危険に近づいてしまうことも多い。
8. 知識・判断力が未熟…危険だという認識がない、文字等を知らない、
判断できないなど。

これらの8つの特性にあてはまる具体的な事例は以下の通りである。

[1. 体が小さい]

「机の高さがあわない」「高いところのものが取れない」などである。

[2. 力が弱い]

「玄関のドアが重くて開けられない」「タンスの引き出しが重い」などである。

[3. 体力がない]

「子どもが疲れた時長時間買物できない」等の回答があった。

[4. 身のこなしが不器用]

危険な時に体がすぐに反応できない点、転びやすい点などを含む。例えば、「フローリングや風呂ですべる」「脇道から急に出てくる自転車や人に対応できない」「ひとりで靴をはけない」があてはまる。

[5. 手先が不器用]

「小さいボタンやファスナー、靴ひもなどが一人で止められない。」「お箸が使えない」などがあてはまる。また、いわゆる“器用さ”よりも広義になるが、「水道の蛇口の加減」「ドレッシングを適量かける」等も含まれる。

[6. 注意力散漫]

「ドアに手をはさむ」「左右を確認しないで道路を渡る」等が、あげられる。

[7. 好奇心旺盛]

「窓から乗り出して危険」「給湯器を勝手にいじって熱湯が出る」等が顕著な例である。

[8. 知識・判断力が未熟]

これは、危険だという認識がない場合や、文字や意味などそれ自体を知らない場合など、広い分野にわたっている。主な例は「中からしか開けられない鍵をかけてしまい、閉じ込められる」「トイレの流し方が場所によって異なるため戸惑う」などである。

これら8つの「子どもの特性」をもとに、以下「子どもの不便さと成長との関係」「子どもの不便さと高齢者・障害者等との関連」「子どもと共用品」等について、考えていく。

4. 子どもの不便さと成長

子どもの不便さの中には、経験・学習によって自ら解消していく内容のものもあり、そのような「不便さ」を安易に取り除いては子どもの成長を妨げる危険性がある。子どもにとっては、このような成長に必要な不便さもある点を考慮しなければいけない。

先に整理した「子どもの特性」8項目は、子どもの成長に従って多くの人が自然に解消していくものと、成長に従って経験・学習することで解消されるものとの、以下のごとく大きく分けられる。

〈A〉: 1～3は身体特性で、多くの人が成長と共に自然に解消する。

〈B〉: 4～5も身体特性だが、経験や練習によって解消する。

〈C〉: 6～8は認知特性で、経験と学習によって解消する。

つまり、〈A〉にあたる場合は年齢・体格にあったものを提供する、という配慮が必要であり、〈B〉〈C〉にあたる場合はその不便さを解消するために子ども自身が経験・学習する必要があるから配慮は逆効果になる場合がある、とすることができる。

例えば、「エレベーターのボタンが高くて届かない」というような場合、その不便さは[体が小さい]という特性に起因し、〈A〉にあてはまる。そのため、ボタンを低い位置にもつける、などの配慮で解決することが望ましい。一方、「靴のひもが結べない」というような場合は、[手先が不器用]という特性に起因し、〈B〉にあてはまるため、ひもを結ばなくて良い靴を与えるという解決法だけではなく、ひもを結ぶことを経験させることも必要になる。

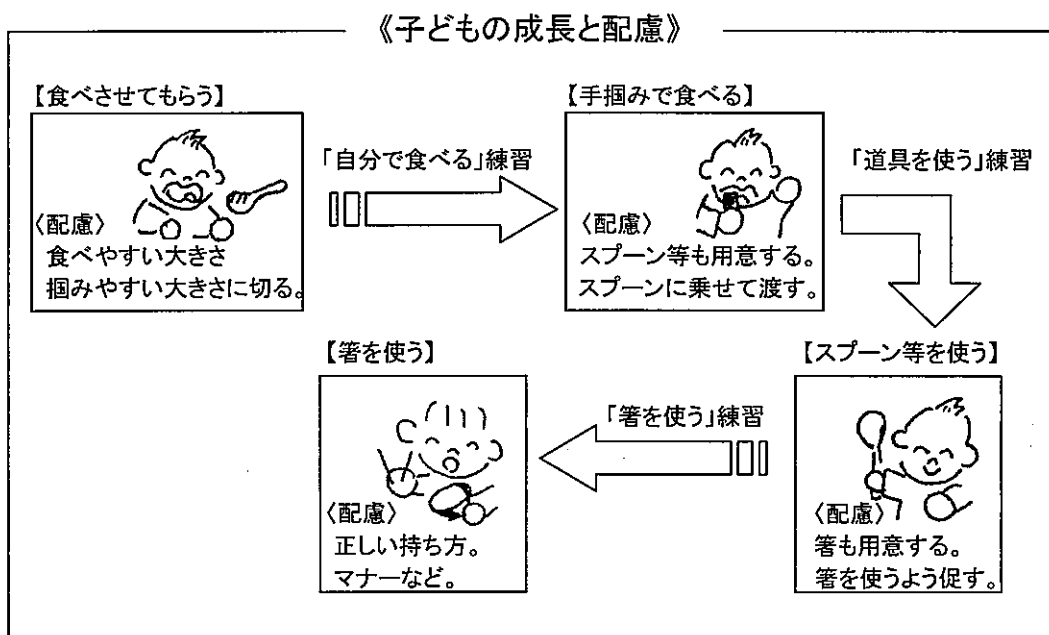
とはいえ、子どもの不便さと配慮とを考える際に、一概に「配慮が必要」「配慮は逆効果」と言い切ることは難しい。それは、「不便」だけでなく「危険」を伴う場合や、成長を促すために必要な配慮、成長の過程に応じて変えていく配慮など、各家庭の方針による違いが大きい場合などがあるためである。

「危険」をともなう場合というのは、例えば「ストーブに興味を持って触る」という事例であてはまる。これは「ストーブが熱い」ことを学習すれば二度と触らなくなるが、その結果、大やけどをすることにもなりかねない。そこで、経験による学習ではなく、言葉で説明して理解できるようになるまで、「ストーブに近づかないよう柵をつくる」等の配慮も必要になる。

また、各家庭の方針による違いが大きい場合には、例えば「箸を使って食べられない」というような事例があてはまる。これは、[手先の不器用さ]に起因しているので、練習すれば解消するが、箸を与えるタイミングや与え方は、家庭の方針によって変わっている。1人で食事ができない子どもに急に箸を与えて練習させることはなく、手掴み→スプーンという過程を経て、最終的に箸で食べられるようにする場合が多い。

つまり、「食事」についての成長過程に応じて、不便さのポイント・経験すべき内容が変わるのである。

それを図示したのが以下の図である。自分の子どもがどの成長段階にあるのか、それぞれの成長段階でどのような配慮をするか等の判断を行うのは各家庭となる。



このように、子どもの成長段階に応じて、どのような配慮が必要なのか、各家庭で判断する目安として、8つの特性による分類を活用し、子どもにとって本当に必要な配慮を考えていく必要がある。

5. 子どもの不便さと高齢者・障害者との関係

子どもの不便さの中には、高齢者や障害者と共通する点も多い。つまり、子どもが使いやすいような配慮は、高齢者や障害者への配慮にも繋がる。

子どもの特性と、それによって起こる不便さや危険、またその不便さと似た不便さを持つ高齢者・障害者とをまとめると以下のようなになる。

子どもの特性	不便さ・危険	他の障害	配慮案
体が小さい	・高い所に届かない ・高い所が見えない	・車いす使用者	・低くする
力が弱い	・重い物が持てない ・固いドアノブ等回せない	・高齢者 ・肢体不自由者	・弱い力への対応
体力がない	・疲れやすい	・高齢者 ・妊婦 ・運動不足の大人	・長い階段等の見直し ・休憩スペースを増やす
身のこなしが不器用	・転びやすい ・滑りやすい ・体の使い方がぎこちない	・高齢者 ・肢体不自由者	・段差等を少なく ・滑りにくい床
手先が不器用	・細かい作業ができない	・高齢者 ・肢体不自由者	・細かい作業の簡略化
注意力散漫	・危険に気付かない(飛んでくるボール接近してくる車等)	・知的障害者	・複数の情報で危険を伝える。
好奇心旺盛	・危険と知らずに触る、近づく	・知的障害者	・危険に近づけないよう
知識・判断が未熟	・危険に対する合図を知らない(赤信号・警笛・湯気が出ているヤカンは熱い…等) ・文字が分からない。 ・難しい言葉が分からない	・(視覚情報に関して)視覚障害者 ・(同様に聴覚情報に関して)聴覚障害者 ・知的障害者	・視覚、聴覚、振動など、複数の方法で情報を伝える。 ・文字の変わりになるマーク等を利用

子どもの不便さに、高齢者との共通点が多い理由は、力が弱いこと、体力がないこと、身のこなしが不器用なこと、手先が不器用であることが共通しているからである。そこで、握りやすく軽いドアノブ、開けやすいパッケージ、滑りにくい床とするなど、高齢者、あるいは肢体不自由者とも共通的な配慮の必要性も多く指摘できる。

また、知的障害者との共通点も多いことが分かった。これは、注意力が散漫であること、好奇心が旺盛であること、知識・判断が未熟であること等の特性で、一部共通する場合があるからである。わかりやすく注意を喚起する、色やマークなど理解しやすい方法で情報を伝えるなど、知的障害者とも共通的な配慮の必要性も多く指摘できる。

さらに、高い所に届かない、あるいは高い所が見えないという点で車いす利用者と共通点があり、危険を知らせる情報となる赤信号、警笛、やかんの沸騰音などが分からないという意味で視覚障害者や聴覚障害者との共通点を見つけることができる。

このように、子どもに対する配慮を行うことは、特定の人にとっての便利さではなく、高齢者や障害者をはじめ、誰にでも使いやすい、という要素も多く持っていることが明らかとなった。

6. 子どもの不便さと共用品

配慮点について、いくつか事例をあげながら子どもの不便さを解決する共用品が考えられるかどうかを検討していく。

[1. 体が小さい]

「低くする」という配慮は、エレベータのボタン・一部の公衆電話・一部の券売機等で実践されている。水飲み場や公衆電話機など高さの低い設備を作ることで、子どもにも、車いす利用者にも使いやすくなっている。

また、電柱にある看板の金具など子どもの顔の部分等低い位置にある危険物を排除するなど危険を除く共用サービスになるかもしれない。

[2. 力が弱い]

「弱い力に対応」という配慮は、家電の軽量化でもっと家事の手伝いができるようになるし、固いドアノブの形状や機構を変更して、弱い力でまわせるようにする等で実践されている。

[3. 体力がない]

「長い階段等の見直し」「休憩スペースを増やす」等は、体力がなく疲れやすい子どもが外出する場合に必要な配慮である。また、子どもだけでなく、高齢者をはじめ誰にとっても役に立ち、あれば嬉しい配慮だと考えられる。

[4. 身のこなしが不器用]

この特性に対する配慮は、高齢者向けのバリアフリー住宅ですでに多く、採用されている内容のものが多い。

[5. 手先が不器用]

家電等の操作部を大きくする、細かい作業の代替になる工夫をする、等があげられる。なお、この不便さは、子どもにとっては「器用さを促す」不便さという意味合いを持っているので、それに対応した配慮が必要となるだろう。

[6. 注意力散漫]・[7. 好奇心旺盛]

これらの特性に起因する不便さは、経験・学習して成長することで解消していくことなので、不便さ解消よりも、危険を回避することが重要になるだろう。

[8. 知識・判断の未熟]

子どもが「文字情報」「危険サイン」が分からないという不便さは、いろいろな障害と共通的である。視覚情報や聴覚情報だけ、文字情報だけだと、分かり難い人がいる場合も、複数の情報を組み合わせたり、理解し易い形式で情報発信をすることで、子どもだけでなく多くの人にとって分かりやすいものとなる。また、文字に変わるマークの利用などは、実際に多くの保育園・幼稚園で実践されていた。

前述のように、この特性も経験・学習して成長することにより解消していくものもある。

このように、子どもの不便さを解決するための共用品・共用サービスは数多く考えられることが分かった。したがって、子どもの不便さ調査も高齢者・障害者等と合わせて実施していくことの必要性も大きいといえる。

7. 今後の不便さ調査の方向性

今後は、今回の定性的な子どもの不便さ調査の成果をもとに、定量的な不便さ調査を行う予定である。

これから実施する子どもの不便さ調査では調査対象は、今回同様、3歳～9歳の子どもとするのが適切と考える。これは、今回の調査を通し、「自分の身の周りのことはある程度できるが、まだ不十分」という年齢として3～9歳がふさわしいと判断したためである。

また、実際の聞き取り対象者は、子どもに日頃接している大人としたが、今回の調査で「両親」と「保育士」とでは、それぞれ違う不便さの指摘があった。「保育士」からの不便さの指摘は体験・学習で解消する事項が多かったことを考慮すると、次回の調査では「両親」を主体に聞き取り対象者として調査を行うことが望ましい。

また今回、回答者にとって「子どもの不便さ」はイメージしにくいと考えて「子どもが1人ではできないこと」「子ども1人ではさせたくないこと」「子どもにとって危険なこと」「注意していること」等の質問によって回答を集めた。

実際、日頃子どもと接している人ほど、「子どもと成長」の項で述べたような「子どもができないことを取り除くと成長の妨げになって良くない」という考え方や、「子どもは多くのことを1人でできなくて当たり前」というイメージが強く、「不便さ」という言葉に違和感を感じる、と数人から指摘された。

そこで、次の定量調査に関しても、「子どもの不便さ」→「子どもが1人ではできない・やりにくそう」、「子どもの危険」→「親が危険だと感じること。気をつけてみていること。」等の解釈から

今回とほぼ同じような質問で行うことが良いと考えられる。

また、新たに「子どもと外出して“自分にとって”不便なこと」という質問も設け、子どもだけでなく、子どもを育てる親にとっての不便さも調べていくも必要と思われる。それは今回の調査で「子どもを育てる親にとっての不便さ」が数多く指摘され、子どもが本当に不便さのない環境で育つためには、子どもにとっての不便さを取り除くだけでなく、子どもを育てる親にとっての不便さをも取り除くことが必要だと感じたためである。

今後は、今回の多数の事例と傾向をもとに定量的な調査を行い、「子どもの不便さ」についてさらに客観的な不便さに関する調査データを得ることが重要である。

資料編

- 資料1 グループインタビュー発言録
- 資料2 アンケート質問表
- 資料3 アンケート回答一覧
- 資料4 カテゴリー別分類一覧表
- 資料5 子どもの体の成長と運動能力の推移

資料1:グループインタビュー発言録

3回実施したグループインタビューの発言録を掲載する。

なお、発言内容を変えない範囲で若干言葉の修正を行った。また、発言だけでは前後関係が分かり難いものに関しては、(カッコ)で言葉を補う、⇒(矢印)で説明を加える、等の編集を行った。

(1)おかあさん

実施日時:2000年9月29日(土) 10:00~12:00

実施場所:東京都中央区 コスモ21 座談会用会議室

参加者プロフィール

A:13歳、10歳、7歳、1歳女兒

B:4歳男児、1歳男児

C:7歳男児

D:9歳男児、2歳男児

E:3歳男児、1歳女兒

F:13歳男児、9歳女兒、4歳女兒

● 家の中の物、設備について

司会 朝起こすことから出かけるまでで、1人ではやらせたくないことは何ですか。

Cさん 名札の安全ピンが自分でやりにくいし、引っ張るので、シャツが穴だらけになってしまふんですね。刺さっても危ないし。靴下がきつめでしっかりしているので、はきにくいです。いすやテーブルは、大人のデザインにあわせて買くと、(子どもが)ぶついたりひっかかたりしますし。マンションなので朝から暗くて、電気をつけなければならぬんですね。

Aさん 家では角のとがったテーブルは使わないけれど、外出するとあるので危ないですね。あとは、電車の窓を広くしてくれれば楽しめていいと思います。

Fさん 寝ているところを起こすと、下の子がベッドから落ちたりします。上の子のベッドは梯子のような階段がついていて、上の子を起こしに行った下の子が梯子を昇って降りてこられなかったり、階段に足が入って宙づりになったこともありました。あとは、洗面台が高くて、蛇口が変わっていて自分で手を洗うことができてなくて。上

子どもの年齢【A:13才・10才・7才男・1才女】【B:4才男・1才男】【C:7才男】

【D:9才男・2才男】【E:3才男・1才女】【F:13才男・9才女・4才女】

の子も閉めるのがうまくいかず、水がたれていたり。冷蔵庫も引き出す冷蔵庫なので、勝手に開けてしまい、氷が溶けていたりします。2歳なので大人のまねをするからかなあ。子ども椅子の上に立ち上がって、倒れそうで危なくて不安定。(いすの高さが)可動式なので上まであげると、立ったときに危ないと思いますね。

Bさん 冷蔵庫を勝手に開けてしまう。閉めるときに子どもの手を挟んじゃったり。開けっ放しで困るので、チャイルドロックを使っています。

Fさん チャイルドロックは親が面倒で。

Cさん トイレとか電気が高くて不便。低い位置にあるといじって壊すのかも…。(電気の)ひもの位置も高いので、手が届かなくて。

Eさん うちが7階なので、ベランダに出ると高く、台に乗ったりすると危ない。歯ブラシを持って歩いていて、血が出たので自分で歯を磨かせないようにしています。箸を持たせるのも危ない。

Cさん マンションの裏階段はコンクリートの階段で、滑るようで。1階なのでサッシが頑丈で、子どもに開けられなくて、いざという時逃げられないのではないかと思います。

Fさん 小さい頃、机にひっかける椅子を使っていて、使ってみるとすごくよくて、外出用と自宅用の2つを持っていました。

洗面台の上の物をとろうとして、それがカミソリであたりが血の海になったことが。それから、5ヶ月の時に階段で落ちて、自分でも階段をこわいと思ったようで気をつけるようになった。

駅の階段でベビーカーを両手で持って降りるのは、命がけの行為だと知りながらやっていたね。車いすは少ないけれど、ベビーカーはいっぱいいるので…。

机にひっかける椅子



Aさん ファミレスで玩具を売っているのが迷惑で、細かい玩具を飲んでしまったり。プラスチックの玉を飲んじゃったり…。

ダンスは子どもが使うようにできていない。ダンスの引出しは重いから、押し入れにプラスチックの棚をいれています。赤ちゃんダンスもあるけど高価だから。

Dさん (引出しを)開けられると出しちゃうから、両手で開けるのにしています。大きくなったら軽いのを使って。

子どもの年齢【A:13才・10才・7才男・1才女】【B:4才男・1才男】【C:7才男】

【D:9才男・2才男】【E:3才男・1才女】【F:13才男・9才女・4才女】

● 外出したときに

司会 外に出たときにはなにかありますか？

Dさん おしゃれなところは床が大理石風で、滑って転んだりして。
お店の棚では、食べてしまうのでお菓子が手のとどかないところにあればいい。

Bさん 高級なお店に行けなくて、子どもの目線のところに棚があるので。

Aさん 子どもは鼻がたれていますよね。服売場の(洋服が)吊してあるところ入っていつて…。商品を傷つけてしまいました。

Cさん 車のドアですね。閉めるときに挟んじやう。子どもの手は小さいから助かるけど大きくなったらこわいですよね。

Bさん うちは玄関のドアで挟んじやって。

Eさん 今のドアはしっかりしていいのだけど、足を挟んだり。

Dさん エレベーターに指を挟んじやって、ほそかったからよかったけど。子どもは危ないなあ、と思います。

Fさん 車いす用トイレは、子どもと一緒に入ると便利。あれを車いす用とするのではなくて、ファミリー用トイレにするといいのではないかなあ。車いすの使用者が、トイレの前で待たされて困るという話を聞いたけれど、子どもと障害を持つ人と合わせて考えると合理的になるのでは？

Eさん 公衆トイレは狭いし、きたないし。和式だと慣れていないから戸惑っちゃって。

Aさん 子ども用のトイレはあるけれど、(子どもを)座らせておくところがあるといい。

Bさん 自分が使うときに、子どものいる場所があるといいですね。

Dさん お父さんと子どもと一緒にになれるように、男性用のトイレにもベビーシートをつけてほしいです。

子どもの年齢【A:13才・10才・7才男・1才女】【B:4才男・1才男】【C:7才男】

【D:9才男・2才男】【E:3才男・1才女】【F:13才男・9才女・4才女】

司会 公園では？

Fさん 自分の責任でなら何をしてもいいというところがあります。釘が出っぱなしのすべり台とか大きな家(家のかたちの遊具)とかあるけれど、自分の責任で自分の体を守るんです。

Bさん 小さい子はすべり台とかの柵のあるところから落っこちちゃうので、柵を増やして、間隔を狭くしてほしいです。

Eさん 砂場だと、ガラスとか混じっているとか。

Dさん 犬や猫のふんが落ちているので遊ばせたくないけれど、子どもは行っちゃうし。

Cさん キャッシュディスペンサーのタッチパネルを勝手に押してしまうんです。子どもはなんだか分からないから押しちゃうんで。

Dさん 子どもが飽きてしまって、カギで遊んでいてCDの横のごみ箱にカギをいれてしまったのを見ました。(ごみ箱を)子どもの目線に置くのは危険だと思いますね。

Fさん (ごみ箱のタイプが)上から落とすとかいいかも。

● 乗り物について

司会 バスなどは？

Dさん (降車の合図の)ピンポンを押してしまうんです。椅子についているのが、子どもにとっては興味津々で。

Bさん 取り消しボタンがあるといいですね。

Fさん でも他人が押したのを取り消してしまったら…。

Eさん 子どもが押してしまって、自分で降りる羽目になることもあります。

Aさん 前払いと後払いあって、後払いのときは、前に行くのにバタバタしてしまって、降りる間際にお金を払うというのはちょっと。

子どもの年齢【A:13才・10才・7才男・1才女】【B:4才男・1才男】【C:7才男】
【D:9才男・2才男】【E:3才男・1才女】【F:13才男・9才女・4才女】

Cさん バスの運転手さんは親切じゃないから。早くしてよって。

Bさん 感じいい人はいるけれど。

Fさん ベビーカーを持っていると、車いす用のところに置いてしまうけど、ベビーカー置き場があるといいと思いますね。

Aさん 電車も前はたたんでください、だったけれど、最近はOKになりましたね。

Cさん 券売機(の高さ)は、7歳だと届きますね。

Dさん 興味があってどこかを押されそうで。

司会 ベビーカーで改札を通るときは？

Bさん 大きいところを通るから(とくに問題はない)。

Fさん 電車のドアとホームの間にドアがあるのがいいですね。

Bさん 子どもは走りたがるし、手を離せないですね。

Aさん ホームからズボッと落ちたことがある。(電車とホームの間に) ベビーカーの車輪ももぐるんですよ。

Fさん 自動販売機で、車いす用のものはいいけれど、普通のものは高く。(取り出し口に)2枚ドアがあると子は手を挟んじゃって。

Cさん 車いす用の自動販売機は(硬貨を)入れやすくいいです。(硬貨を)縦にして入れるのは時間がかかるので。上のほうに商品がでてくるものも、いいですね。

● 家の中でのこまごましたこと

司会 細かいところで、お手伝いとかはどうですか？

Aさん なんでもやりますよね。まな板や包丁も子ども用のものを買ってやらせているし。靴も自分で洗っているし。

子どもの年齢【A:13才・10才・7才男・1才女】【B:4才男・1才男】【C:7才男】
【D:9才男・2才男】【E:3才男・1才女】【F:13才男・9才女・4才女】

Dさん (子どもが自分の)上履き洗うのは(学校の)宿題だった。

Aさん 食べ物のにおいのする消しゴムを食べてしまって。1歳から10歳くらいまで。食べ物じゃないと分かるまで食べてしまうんですよ。

Fさん 9歳の子が朝からインスタントラーメンを作ってます。ガスがつかなくても漏れないロックというのがあるから。ロックは手応えがあっていいですね。

Bさん 火を使わせるのが怖い。

Eさん 下の子は食器を運んで片づけのまねをしてしています。うちは家の中が段差が多いので、転ぶのではないかと思うので、歩きやすかったらいいのにと思います。

Aさん うちも果物ナイフと一緒にカレーを作ったり。じゃがいもの皮むきが難しいみたい。

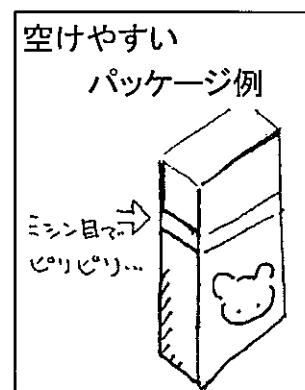
Fさん 電子レンジを使うようになりました。数字を合わせるだけなので、熱いところまでやらせなければ安全だし。

Dさん お菓子の(パッケージに)ギザギザがついていたりするのが、開けられない。開けやすい箱もあるので、それはいいけれども。

Eさん 乾燥剤に興味があって開けたがって。食べたことはないけれど。

Fさん 基本的に(少量なら)食べてもいいんですよ。

Aさん ちは食べちゃったんだけど。(口の中の)水分吸われちゃったみたいで、ぴりぴりしていたみたいで。

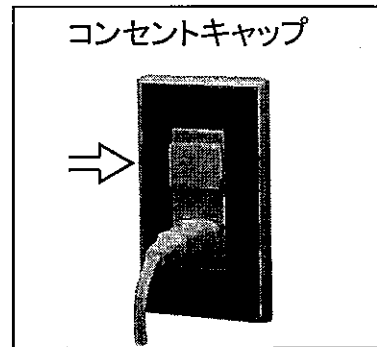


Dさん 年齢が上になるほど、小さいおもちゃを使うので、下の子が飲んじゃうかもしれないという気がします。この年齢では危ないですね。上の子に、小さいものは引出しの上の方にいれなさい、とっています。

Aさん ボタン電池もありますよね。

子どもの年齢【A: 13才・10才・7才男・1才女】【B: 4才男・1才男】【C: 7才男】
【D: 9才男・2才男】【E: 3才男・1才女】【F: 13才男・9才女・4才女】

Bさん 家の中で危険なのはコンセント。(コンセント)キャップ
をしているのを外そうとするので。安全のためにやっ
ているものが、危険をよんでいるようなものもありま
すね。



Cさん 高くても台を持ってきて取ってしまつて。薬を
飲んでしまったことがあつて。

Dさん 複雑な引出しでも、よく見ていて開けてしまふんですよね。

司会 複雑な鍵などもできちゃう？

Dさん (おもちゃ等ではなく)本物の(鍵の)ほうがおもしろいから、やつてしまふんです。

Fさん ビデオにもものをつつこんじゃつて。

Eさん 新聞で、(何才から)ビデオを操作できるか、という統計があるけれど、うちの子も1
歳でできるようだし。

司会 できて困ることの方が多いですか？

Fさん 子どもにとって便利だと危険が増えます。急にやりなさいといつてもできないから、
少しずつ慣らすようにして。少しぐらいの危険なら経験させてもいいと思うので。

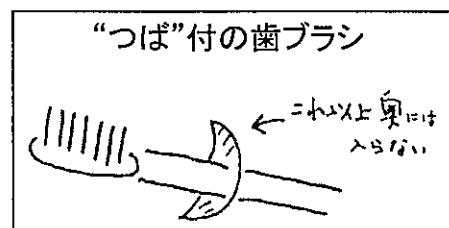
司会 スプーンからお箸へは？

Aさん あると自然に使いたくなる。

Fさん 下の子は、上の子が(お箸を)持っているから使いたいというけれど、上の子は教
えないとできなかった。でも、お箸は危険な気がする。

Bさん (コンビニなどの)割り箸の袋の中に、楊枝が入っているので危なくて。

Fさん 子どもは歯ブラシを使うときに、歩きながらや
るけれど、歯ブラシに“つば”がついているもの
があつてそれが便利で。いろんなものに付けら
れるつばがあるといい。



子どもの年齢【A:13才・10才・7才男・1才女】【B:4才男・1才男】【C:7才男】

【D:9才男・2才男】【E:3才男・1才女】【F:13才男・9才女・4才女】

ビデオは一台一年しかもたないと思っています。壊れる原因はお菓子で、中に入っ
て壊れてしまう。ビデオのつくりが無防備で、入り口にカバーをしてくれればいいと
思うんですけど。機械部分へのバリアフリーをしてくれれば。

司会 お風呂とかは？

Eさん 知らない間に潜っちゃって。滑ったり。

Bさん なんでもないときはいいけど、石鹸をつけているときは滑りやすいから。

Dさん 浴槽のふちが、子どもがまたげる高さのときに浴槽に落ちる。浴槽に手すりみたい
なものがあって、滑ってゴンって。

Fさん 小学校くらいになると洗えるし。でも男の子なのでいいかげんだけど。

● 使いやすかったもの、工夫しているもの

司会 使いやすかったものなど、他に思いつくことはありますか？

Fさん 気に入っているママチャリがあるんですけども、それが、ハンドルの間に椅子が
一体にくっついていて、転倒したときに、椅子が子どもを守ってくれるのでいいです
ね。外れるカゴだと転倒したときにすっとなでいっちゃうんだけど。

Eさん 子どもを(自転車に)乗せたり降ろしたりするのが、面倒くさくて不便なんですけど。

Fさん そのママチャリは頑丈なので1人で入っていけますね。ただ、難点は高価なこと。

Bさん 子どもの自転車にはカギやライトがついてないのはなぜかと思います。うちのはマ
ウンテンタイプなので、チェーンをつけられなくて。ライトも100円ショップで買った
のだけど、切れちゃうし。(自転車が)新品だと(盗まれないかと)心配になるんで、
カギがほしいですね。

司会 雨の日とか目立つ格好にしていますか？

Cさん 冬場のジャンパーとかは、蛍光ラインのものを買うこともあります。自転車には反
射シールをつけたり。

子どもの年齢【A:13才・10才・7才男・1才女】【B:4才男・1才男】【C:7才男】
【D:9才男・2才男】【E:3才男・1才女】【F:13才男・9才女・4才女】

Bさん 車が乗り上げていたりとか、自転車が置いてあったりとか、歩道が歩道じゃなくなったりしているときに危ないと思います

Eさん 保育園に車を使って来るときに、知らない人は(保育園の塀際に)ぴったりくっつけて置くので、子どもが車道を行かなければならなくて危ないです。

Cさん 傘はすぐ壊します。

Fさん 風に向かって持ちちゃうし。

Cさん わざとひきずって帰ったり、剣がわりになったり。

Aさん 先が丸くなっているのが(危なくて)いい。

Cさん 安いのをまとめがいています。

司会 子どもにはジャンプ傘(⇒ワンタッチ傘とも言う)の方がいいですか？

Dさん 一回(普通の傘を開く時に、傘のほねに指を)挟んだことがあって、ジャンプ傘を使っています。でも、まわりをよく見ないと危険。

Cさん 子どもは10歳までは学童(⇒学童保育:両親が働いている低学年の子どもを、下校時から夕方まで預かってくれる施設。市区町村の管轄で最近では児童館と併設のところが多い。地域によって違うが2~3年生まで。)があるけれど、それ以上(の年の子ども)は行くところがないので困る。

Fさん 毎日習い事をさせるとか。(笑)

Aさん 行くところがないんですね。

Cさん お昼を一緒に食べる人がいない。

Dさん 個人的に知った人を頼むとか。ヘルパーさんを頼むとか。

Fさん そのくらいの年齢の子どもが、大人といつも一緒にいるのがいいことかどうか。

Aさん 塾に入れようと思って。(塾の)合宿に入れるけど、経済的に大変で。

子どもの年齢【A:13才・10才・7才男・1才女】【B:4才男・1才男】【C:7才男】

【D:9才男・2才男】【E:3才男・1才女】【F:13才男・9才女・4才女】

Cさん 働きながら育てるのが難しい。高校入るくらいまで。

司会 子どもが1人でやる機会が増える？

Aさん でも、精神的にどうかと思うんです。今の子は遊べなくて。

Cさん お母さんが安心して働けなくて。子どもが心配で。

Aさん 携帯のことなんですけど、中学に持って行ってはいけないのですが、公衆電話があまりなくて。

Fさん 1人で行動しますものね。

Aさん お友達のところでは、電話番号指定にして、位置確認のためにも持たせているという家があります。行動範囲が広がるので、連絡がとれるように携帯電話を使っているところもあります。

司会 抵抗はありますか？

Aさん 夜に出歩くようになると、今どこにいるのかなあ、という連絡を常にとれるような状況がいいですね。番号指定で、ポケベルかわりに。

Dさん タイマーでそういうのがあるといいですね。スケジュールがつまっているときに使えるので。

Aさん 携帯を持っていれば、親が(時間になれば)一声かけてあげられるから。

司会 子どもには、あと1時間というのがわからないから？

Cさん うちで、時間がくると鐘がなるので、それを聞いて帰ってくるんです。

Fさん 公衆電話は子どもがとじこめられるのでこわい。

Aさん お手洗いの電気がつけっぱなしの時とか、1日の中で電気が切れているはずの時間になれば、タイマーで切ってくれるのがあるといい。使うとき以外に切れるとか。

子どもの年齢【A:13才・10才・7才男・1才女】【B:4才男・1才男】【C:7才男】
【D:9才男・2才男】【E:3才男・1才女】【F:13才男・9才女・4才女】

- Fさん 子どもは気がむいたとき以外は、消さないけれど。
- Aさん 男の子は18歳くらいまでは期待できないのでは？
- Bさん ウォシュレットをつけていると(トイレの)掃除がしにくい。
- Fさん 形状記憶のメガネで、いちばん記憶してほしいところが記憶になっていないのが、どうにかしてほしいです。意外と子どもってそういうところを壊すから。
- Bさん クレヨンとかみんなボキボキ折れてしまうんですね。ぼろぼろのがいっぱいあって。ハードケースにでも入っていればいいのでは？
- Dさん 便利すぎるのも子どもにとってよくないし。(お菓子などについている)おまけって、ありますよね。あれがいっぱいあって、親が捨てているのを見せると、ものを大事にしなくなりそうで。
- Bさん クレヨンでも粘土でも、チョコレート風の色のもとかを食べちゃって。小麦粘土なんかはおいしいので、(子どもが食べないように)塩をいれていると聞きます。
- Eさん 靴のサイズがなくて。子ども用の靴は、1cmきざみなので。
- Fさん 最近は0.5cmきざみのものも出てきてるけど。
- Eさん 高価だし。
- Aさん 子どもにあうサイズの上履きがなくて。ぶかぶかの上履きを履かせてました。
- Fさん いろんな身長の子がいるというのを分かってるのに。
- Dさん マジックテープの靴ばかり履かせていたら、ひもが結べなくて。しまった、と思いましたね。時計も、小学校の算数でやるのですが、デジタル時計しか家になくて、時計が読めなくてあとで苦労しました。
- 司会 今日は、ありがとうございました。

子どもの年齢【A:13才・10才・7才男・1才女】【B:4才男・1才男】【C:7才男】
【D:9才男・2才男】【E:3才男・1才女】【F:13才男・9才女・4才女】

(2)おとうさん

実施日時:2000年10月14日(土) 14:00~16:00

実施場所:東京都中央区 コスモ21 座談会用会議室にて

参加者プロフィール

H:3才男児

I:13才男児・8歳女児・5歳女児

● 家の中での設備、電化製品

司会 子どもと接していて「こんなところが不便」とか「子ども1人ではできない」とかそういう例を沢山挙げて頂きたいなと思っています。家の中なんですけれども、朝起きてから身支度をする場面はどうでしょうか？

Iさん まず、冷蔵庫ですけど、自然に閉まるドアが付いていてもいいんじゃないかと思うんですよ。子どもに任せておくと開けっ放しでそのままどこか行っちゃったりするからね。「ピピッピッ」って鳴ることは鳴るんだけど、まだ物足りないの。自動で閉めるくらいどうってことないんじゃないの、と思うのね。
子どもと一緒に部屋で寝起きているんだけど、そうすると大人は暑いなあとって部屋の温度下げたりするんだけど、子どもの方は布団がはがれて、朝キンキンに冷えてそのまま凍ってる、みたいなことがあるのね。結局エアコンの温度設定って結構アテにならないのね。もうちょっとアテになってほしいのと、部屋の中の空気だけを循環しますよね。あれじゃなくて、例えば外気が少し涼しければ換気扇みたいにして取り入れたり、寒ければ暖房に切り替えたり。エアコンって冷房と暖房って切り替えないといけないんで、勝手に変わってほしいな。

司会 そうですよ。同じ25度でも冷房と暖房がありますよね。

Iさん それくらい判断してほしいのね。それと換気をつけてほしいな。
あとは、小さい子だと鍵が回せないんですね。開け閉めができないから、ちょっとした時に鍵持っててっていうのができなくなっちゃうのと、小さい子どもに鍵持たせるのは物騒だというわけで、鍵は持たせられない。でも家は閉めたい、という状況の時に、家では鍵を箱に入れてその箱に鍵の番号がついているのがあるんですよ。その番号さえ覚えていれば押すと箱が開けられて鍵が出てくるのね。それを今使っているんだけど、小学生くらいになると使えるようになって便利になってる、ということがあるんだけどね。

子どもの年齢【H:3才男】【I:13才男・9才女・4才女】

Hさん 鍵の話ですけれども、うちはまだ年齢が低いので、そこまでの判断力というのがないんですね。ちょっとシーンが違ってしまいうんですけれど、ベランダに出ているお母さんが洗濯物を干していて、子どもが部屋にいて、その状態で(子どもが)サツの鍵を閉めちゃう。それで、(内側から)開けられるんだけど、(母親が)「開けてドンドン」ってやっても(子どもは)意味が分からなくて、ただ泣くだけ、っていうそういうことがありましたね。気をつければすむ問題なんだけれど。これも小さいので、段差で転びやすかったりとか。転んだ場合、何かに物があつて角に頭をぶつけるとか、そういうことでケガをしたことがありましたね。それからドアで指を詰めたりとか、引出しを開けて引き出しにストッパーがないと、足の上に落として足の指をケガしたりとか。このへんは全部経験不足なんですよ。1人で出来ない、ということとは少し違うかもしれないんですけれど。後は、自宅のマンションにエレベーターがあるんですが、エレベーターのボタンが高いので閉じ込められちゃうんですよ。偶然なんですけれど、先に子ども達だけ乗っちゃうと、「開く」というボタンに手が届かないから開けられないんですね。で、別の階でボタンを押していると、勝手に行ってしまうんですよ。3歳くらいだと、危ない、っていうことを教えてもなかなか分らなかつたりするので、電話や電気のコンセントを抜いて遊んだりするのもかなり危険ですね。抜けてかいているのを金属物で触ったりして指がやけどしたりとか。

Iさん うちではリモコンがなくなつたりするんですね。冷蔵庫の中に入っていたりするんですよ。エアコンとかテレビとか、リモコンがないとどうにもならないんですね。リモコンがなかったり、(リモコンが)機能しなくてもいいように、本体で操作できないと困るんじゃないかな。逆にいうと、子どもがいじって困る時にはリモコンを隠せばいいんだけどね。テレビ見せたくないとか。あとは、風呂に入る時に、風呂のお湯っていうのは僕は熱い方がよくて子どもはぬるいほうがいいから、そこが困るよね。それと、子ども2人入れてるんだけど、子どもを1人ずつ洗って入れて最後に自分が入るから、真冬とか自分はとても寒いんですよ。床も冷たいし、例えばトイレが寒いからって暖房入れるように、何とかならないかなと思うんですよ。

● パソコン、携帯電話について

司会 パソコンを子どもさんは結構使ってますか？

Iさん そうですね。中1の男の子はインターネットにはまって、あと小学生も「こんなのあるからこれ調べといて」って言えば、自分で操作できますね。最近が一番下のチビも「ゲームやらせろ」とか言ってますからね。

あと、教材用の磁石を持ってパソコンのまわりをうろうろされるとディスプレイ

子どもの年齢【H:3才男】【I:13才男・9才女・4才女】

の色が変わっちゃったりして困るんですよね。3段階くらいのパソコンのプロテクトがあって欲しいと思うのね。「幼児のプロテクト」と「子どものプロテクト」と「青少年のプロテクト」。(「幼児のプロテクト」の段階は)幼児はわけが分からず触るから、それでパソコンが動いてしまわないように決まったボタンを押さないと動かないとかね。それで、「子どものプロテクト」の段階は)子どもが大人の領域まで入ってこないようなプロテクトがほしいわけです。それで(「青少年のプロテクト」の段階は)青少年になると、インターネットとか使うようになるわけですね。そうするとショッピングサイトとかにも行けるようになるわけで、そういうこと(ネット上でのショッピングなど)に対するプロテクトを自分のマシン上でできるようになればいいと思うんですよ。

司会 逆にそういう機械に関することは不便というよりも、すぐに操作できてしまって、逆にどう制御するか、という感じですかね。

Hさん そうですね。まず、さっきのお風呂の話で、最近引っ越したんですが、前の家はお風呂の中にシートスイッチが入っていて、それで(給湯の)温度調節ができるようになっていたんですよ。お風呂の中からも、(風呂場を)乾燥にできたり暖房を入れられたりするんですが、そうすると子どもが押しちゃうんですよ。例えば自分が髪とか洗っていて見えない時に触っていて、温度設定を変えられてて、いきなり出してみたら熱くなっていたとか。引っ越したら、今度は古いマンションで、お風呂の給湯はシステムが古くてダイヤルで設定するだけなんです。それで、温度の設定のところにロックボタンがついてるんです。子どもはまだできないので、逆に古い方がいいんですね。学習しちゃえばできるのかもしれないけれど、今のうちはできないからね。

司会 少なくとも気付かないうちに変えられてることはないですね。

Hさん やってればカチって音がするから、わかるんじゃないかな。パソコンはうちも仕事で使ったりするんだけど、最近のパソコンはUSBっていうので周辺機器が繋がってて、ひとつだけ周辺機器を切っても大丈夫なんだけど、ちょっと昔の規格で周辺機器が繋がっていると、ひとつ切ると周辺機器が全部パンクしちゃうんですよ。それを何度かやられまして。機械はどんどん新しくなっているから、そんなに不便は感じないんですけど、昔のパソコンはそこまで考えて作られていないですからね。

Iさん 今までパソコンは特機製品的なものだったけれど、そろそろ家電になってきているんですよ。

司会 子どもも使えるようになってほしいし、同時にロックできる場所はロックしてほしい、という感じですか？

Hさん あと携帯電話を椅子の上とかに置き忘れてて、子どもが勝手にダイヤル押してかけちゃったこととかありますね。

Iさん これから先、携帯電話は子どもにも持たせるようになるだろうから、金額の制限がつけられるようにするとか。金銭感覚がないから、いくら以上使ったらもうかけられない、とか。もっとも緊急の時にかけられないと困るけどね。

司会 金銭感覚がない、というのは、目に見えるものじゃないとわからないという感じですか？

Iさん 例えば残額が減るとディスプレイが赤になるとかね。もうだめよ、というのを伝えて、それでもかけ続けていればそのうち見えなくなるとか。
あとは、子どもがまだ小さい時に、階段とか台所とかに入れられないような低めの扉をつけたことがあって。すぐに開けられるのと、(柵を乗り越えようとしたり、柵によってケガをしたりしないかと)余計恐怖で、何の役にも立たなかったけれど。台所は別として、階段なんかは自分が実際に落っこってみて初めて怖さが分かっていうか、それが一番効果があるね。

● 日常生活

Hさん 例えば包丁なんかは、扉とかに入れるところがついているけれど、それは全部とっちゃって、手が届かないところに置かないとね。

Iさん ガスの元栓なんかも、面白そうなところについてますよね。

Hさん 備わってしまっていて、どうにもならないものが一番危ないと思いますね。
風呂場は危ないですね。30センチくらいの(深さの)水でも3歳の子が足を滑らせて、びっくりして、おぼれて死んだことがあるらしいんですよ。結構お風呂の事故って多いらしいですね。比較的重めのふたをつけるとか方法はあると思うんですけど、そうすると今度は老人の方が開けるのが大変だしね。
転んですべることはあるけれど、風呂のタイルの中には滑らないものもあるでしょう。

司会 ざらざらしたタイルとかですよ。

子どもの年齢【H:3才男】【I:13才男・9才女・4才女】

- Hさん ええ。だけれど、風呂桶で滑ったりマットで滑ったりしますね。
あと、うちは特殊かもしれないんですけども、マンションが古いので一番危ないのはベランダなんですよ。ベランダがすごく広いんですが、フェンスにすき間があいているし、上から子どもが乗り越えようとすれば乗り越えられなくもない高さなんですよ。だから上に自分でフェンスみたいなものつけたんですけど。
それ以外にも、子どもが落ちるのが簡単っていうところは結構ありますね。窓があって普通のサッシがあるところって子どもが乗り出せば落ちそうなんですよ。
- Iさん それは普通の家でもそうですね。うちは窓に必ず中から柵を自分でつけました。
- 司会 他に場所ではなく、物でケガしたこととかはどうですか？
- Iさん 娘が椅子と食器棚のへりに手をかけてぶらぶらやっていて、落ちて、あごを何針か縫ったことがあるんですよ。危ないな、と思うんだけど、見ていると下の子どもやってるんですよ。それを言い出すと、鉄棒もジャングルジムも危ないことになっちゃうんだけどね。せめて家だったら、床材を工夫するとかね。
- Hさん あと、フローリングだったら滑らないようなワックスを選ぶとか。子どもはば一つと走っているとカーブで転ぶからね。
- Iさん 電気製品は子どもに弱いですね。カセットテープを引き伸ばして遊んだりとかね。その点ビデオテープは大丈夫かに見えるんだけど、彼らは知ってるんですよ。どうやったら開くか…大人は知らないけれどね。
- Hさん ビデオやテレビの設定とか、ボタンを押して変えられていて、予約した録画ができてなかったりとかね。
おもちゃの話ですが、おもちゃは子どもの趣味が色々あるんで一概には言えないんですけども、壊れやすいおもちゃがあったりとか、プラスチックの製造過程によって鋭利なところができちゃったりとかするんですよ。そういうものは、ケガしないまでもかなり痛かったり、手を詰めたり。壊しちゃってその部品の切り口でケガをしちゃったりとか。あと、よくケガするのは、けんかになっちゃっておもちゃで殴ったりするんですね。おもちゃの形状が、とがったり、それ自体が重たかったり。私の経験なんですけれど、透明のボールの中にぴかぴか光るものが入っているというデザインをやったことがあるんですが、それがけんかして殴るのにちょうどいい形なんですよ。それで、そのおもちゃでけんかしてケガをしたというクレームがきてやめてしまいまして。だから、凶器になりそうな形とか重さって何かあるのかもしれないですね。同じものでももう少し短いとか、軽いとか、とがった物は作らないとかあるのかもしれないですね。必ずしもすべてのおもちゃがST(玩

子どもの年齢【H:3才男】【I:13才男・9才女・4才女】

具安全基準: Safety Toy)を通ってるわけではないですからね。

Iさん 乳幼児期に口にしやすいものは気をつけた方がいいですよ。ビー玉とか。

Hさん おもちゃの話で一番いやなのは、乳児期に口にしておしゃぶりで、明らかに塩ビ(塩化ビニル:塩化ビニルを柔らかくする時に混入される可塑性のホルモンに与える影響が指摘されている)だろうな、というものがあつたんですよ。

Iさん 話は少し子どもの話からずれるんですが、台所の手袋って、ほとんどが自分の手のサイズより小さいんですよ。たまに僕らがやろうかな、と思っても入らないんですよ。

Hさん あとお風呂のスリッパもそうですね。

Iさん 男性用のお風呂のスリッパがないんですよ。確かに普段置いておいたらじゃまですよ。でも緊急におとうさんが何かやる、という時には不便ですよ。

Hさん そのうち出てくるんじゃないでしょうかね。おとうさん用のも。本当のユニバーサル(デザイン)ですよ。

Iさん その関連だとだっこひもとかも女性用にできてますよね。デザインも可愛くてきれいな色で、男性が使ったらちょっと変ですよ。それで、金属フレームのしよいこみたいなのを持ってる人がいて、結構便利そうですね。子どもは歩けるようになって、すぐ疲れた~ってなっちゃいますから、だっこよりも背中に乗せる方がいいですよ。ハイキングとかに持っていくにはいいんですけど、普段持って歩くには大袈裟だし、ちょっと使えないでしょう? 普段ちょこつとかばんの中に入れておいて、何かの時にすぐ取り出せるのがいいですよ。別に男性に、っていうじゃなくて、誰にでも使えるようなのがあればいいですよ。あと、出かける時では、傘ね。3、4歳になると自分で傘をさすようになるのね。それまでは保育園行くにも、おんぶやだっこだったのが1人で歩くようになるから、制御がきかなくて危なくてしょうがないのね。傘持っちゃうと手が使えないから。

Hさん (傘を子どもは)片手で持てないしね。両手じゃないと風がこわいですよ。あんまり雨がひどいと、かっぱを着せて自転車乗せたりするけど、(子どもは)傘がいい(持ちたい)んだよね。

Hさん 年齢が下がっちゃうんですが、ベビーカーの話で、これは子どもが困るというよりも親が困るという感じですね。ベビーカーっていうのは車椅子と一緒に段差があ

子どもの年齢【H:3才男】【I:13才男・9才女・4才女】

ったりとか階段とか、そういうところで非常に不便さが出てきたりとか。段差があっても、1回子どもを下ろして一緒に抱えて歩くというのが大変ですよ。

Iさん 駅とか大変ですよ。小さなやせた奥さんが、ベビーカーと赤ちゃん抱えて降りていくのとかね。あれは1度に運ばないと、子どもだけ先に運んだら戻ってる間子ども1人になっちゃうね。

Hさん そういう時に転んだりしたら危ないじゃないですか。やっぱりエスカレーターとかエレベーターが必要ですよ。あとベビーカーがらみでいうと、便利だと思うのは、身障者用のトイレを使わせてくれることがあって、これはベビーカーごと入れちゃう。で、一緒に用も足せちゃう。普通のトイレだと入れないよね。それに困ったのが、非常ボタンが中についているんですけど、押してしまったことが2回くらいあって、係の人があわてて飛んできたんですよ。

司会 トイレは結構困ることは多いですか？

Hさん ある程度大きくなると自分でできるようになるからそれまでですね。あと、オムツが取れないとオムツ変えは大変だから。

司会 オムツ変え用のベッドは相変わらず女性用の方にしかないですよ？

Hさん そうですね。でも、あそこでできることは、ごくまれですね。レストランとか行った時、食事中とかだと困りますね。ある程度大きくなると、子ども用の低いところとか大概あるじゃないですか？

司会 それは男の子だからじゃないかな？

Hさん あー、そうかもしれないですね。

司会 Iさんさんは女の子だけとどうですか？

Iさん そうですね。(個室が)空いたらいいんだけど、空いてなかったら、女の子はできないじゃないですか。それがちょっと困りますけれどね。例えば緊急用のトイレとか使ったらいいんじゃないかと思えますけれどね。カーアクセサリーの店とか、サービスエリア、あとガソリンスタンドでも売ってますよね。

司会 昔と比べてどうですか？

子どもの年齢【H:3才男】【I:13才男・9才女・4才女】

Iさん 子どもが遊んでいる姿をあまり見なくなりましたね。昔は公園で遊んでいたのに。

Hさん 公園とかがゴースト公園になっちゃって、中に住んでいる人もいて、デッドスポットがあったりしています。

Iさん 中高生がたむろしているから。今は。

Hさん お母さんの数も少なくなるから。お母さん同士で公園のランク付けをしているし。

司会 子どもと遊ぶのは外ですか？

Hさん 普段は公園や、遊園地。

Iさん 校庭開放がいちばん安心ですね。中学の校庭を開放してほしい、広いから。

Hさん 公園では、ボール投げをしてはいけないので、もうちょっと工夫してほしいですね。どこも同じような遊具しかないし。

Iさん サッカーゴールなどがある公園では、中学生などがいて危なくて遊べないですね。スポーツクラブとかもあるのだけど、専門すぎて入っていけないんです。昔は何人か集まると三角ベースとかやっていたけど。

Hさん 習い事をさせようと思っているけれど、今は一緒にできるものが増えているのでいいとおもいます。英会話や、水泳教室とか。
あとは、新聞などで問題になっている託児所の問題があります。共働きで子どもを預けるときに、途中から預けようと思うと、場所がなくて、議員さんに頼んだりしているそうです。ちょっとだけ預かってくれるところがあるといいと思いますね。昔は近所でもよかったが、今は環境として無いのできついですね。

● 車について

司会 車の話が出ましたが、チャイルドシートはどうですか？

Hさん 最初一番困ったのはいやがって泣いちゃって泣き止まなかったことですね。ほんとに拘束されちゃうじゃないですか。何度もやって、なだめて、チャイルドシートにおもちゃとかつけて、何とか慣れたって感じですね。

子どもの年齢【H:3才男】【I:13才男・9才女・4才女】

Iさん 設置するのが面倒くさいですよ。例えば保育園とかお迎えに行って、一人のお母さんが2人とか子どもを乗せるのにチャイルドシートで、っていうとつけるのが面倒くさいんですよ。
根本的に車自体がチャイルドシートを使わなくていいような構造になってればいいと思うんだけどね。例えば、アメリカの車なんだけれど、ドアを閉めた途端に、シートベルトみたいなのがすーっと降りてくるのね。例えばそれだったら子どもだけ特別でもないし不快感もないしね。
あと自動車のドアって、ボタンって閉めないとちゃんと閉まらないんだよね。中には、オプションで途中まで閉めればゆっくり閉まってくれるのもあるんだけど。普通のボタンって閉めないといけないのは、子どもを中に乗せてるとすごく怖いよね。

Hさん あとパワーウィンドーなんですよけれど、窓を閉めてて何か挟まってる途中止まるんだけど、割り箸とかじゃだめ(止まらない)なのね。細いと感知しないの。だから、子どもの指とかだとたぶんだめじゃないかな。
チャイルドロックだけれど、チャイルドロックがついてる車ってもう古いんだよね。中から開けられないから、自分がぐるっと回って開けてあげないといけないから、結構不便なのね。でも、子どもが開けちゃうことってあるから、例えば運転席からオートロックしちゃうと中から開けられなくなるとかね。そうすれば、別にロックさえはずせば中から開けられるし。

Iさん 不思議なのは、車が動いている時にはロックを閉める、ということ、なぜしないんだろうね。

Hさん 車が走って何キロ以上出ている時には、ドアは絶対あかない、とかすればいいのね。
同じことはカメラのフィルムでも思うんだけど、あれフィルム入れて巻き終わるまでは開けられないようにすれば、間違っって子どもがあけて写真をだめにすることとかもないのね。

● 電車、自転車などの乗り物について

司会 そうですね。他に外に出かける場面で何かありますか？

Iさん 自転車なんですよけれど、すごく危ないな、と思うのが、前と後ろと背中に乗せて4人乗りしてるおかあさんとかいますよね。ママチャリで、子どもを乗せるのを専用にした自転車とかあるんだけどね。子どもを乗せると安定するような作りになってるんですよ。乗せない時も安定感が保てるんだけどね。坂の上まででも一気

にのぼれちゃうの。

だけれど、不満は男性版みたいなのがないことだよ。男性の自転車で子どもを乗せられるようなのがあれば、奥さんが乗せるよりもはるかに安定していいと思うんだけどね。そういうライフスタイルを提案しつつ売る、というのがあればいいよね。

司会 子どもさんと出かける時は車が多いですか？ 電車とか公共の交通手段は使いますか？

Iさん 電車なんかだと、最近ホームの所に壁が出来てるのはいいと思うのね。落ちないし。転落事故、ってすごく多いんだよね。

Hさん 私は出身が広島なんですけれども、路面電車が走ってて低床(低床:バス・路面電車等で、乗降の負担を減らすために、床が低くなっている)なんで、そのまま乗れるのがいいですよ。路面バスとかでも一緒だと思うんですけど。

Iさん 路面電車ってカーブですごい振られませんか？ それなので、子ども・老人レベルの高さで、もっと捉まる場所が必要だと思うんですよ。電車でもそうですよね。つかまれる場所が全然ないですよ。子どもと一緒にいる時に、自分が吊革持って子どもを支えるのも大変だし、荷物の多い時とか子ども1人で立っているのも大変だよ。

Hさん 電車で帰省する時に新幹線とか使ってたんですけども、前はのぞみに個室があったんですけどなくなっちゃったんですね。岡山とかだと子どもは5、6時間椅子に座ってるだけなんですよ。

司会 私鉄共通のプリペイドカードは使いました？ あれはどうでしょうか？

Iさん うち回数券ですね。回数券のまずいところは期限があるところですけどね。あと、どこでも使えるわけじゃないしね。

司会 自分で切符を買うことはあまりないですか？

Hさん 自分で買うことはまだないですけど、切符買って子どもは自分に持たせてほしいんだよね。そうすると、なくしちゃったりとか。

Iさん 特にプリペイド系はなくすから持たせられないよね。

子どもの年齢【H:3才男】【I:13才男・9才女・4才女】

Hさん あと、カードは折られちゃうんですよ。少く折られても大丈夫なんだけれど、完璧に半分に折られちゃうともうだめだから。切符も、子どもに持たせると、くしゃくしゃにしちゃって、機械に吐き出されたりとかね。

Iさん 切符を買う時の小学校2、3年生になったら、自分でも買えるし、勉強させたいっていうのもあるんだけど、券売機が高いんだよね。1台低いのがあれば、車いすでも大丈夫だと思うんだけど。

Hさん 飛行機で子ども連れの場合、子どもがぐずっちゃうと逃げるところがないんですよ。車だったらサービスエリア入ったりとか、電車だったら降りちゃうとかできるけれど、飛行機だとどこにも行けないんだよね。よく泣いてる子がいるけれども、周りの人も我慢しなくちゃいけなかったりとか、泣かされている両親がすごいかわいそうなんです。なんかいい方法ないのかと思うんだけど。

Iさん 2歳くらいまでだったら、前から航空会社に言っておくと壁際の席をとっておいてくれて、そこだと壁際にハンモックみたいなのをつるせるんですよ。どこの航空会社もやってるはずですよ。

Hさん もう1つ飛行機で不便なのは、トイレに入る時ね。中に色々あるのですごく触りたがったりするんですよ。それで落としちゃったりとかね。でも、飛行機で、子どもが1人で乗っても面倒を見てくれるというのはいいなと思いました。海外旅行もできるし。

司会 狭いのは気になりませんか？

Hさん それは新幹線でも一緒ですよ。もっと広がったらいいですけどね。

司会 ありがとうございました。

(3) 保育士・幼稚園教諭

実施日時:2000年10月14日(土) 10:30~12:30

実施場所:東京都中央区 コスモ21 座談会用会議室にて

参加者プロフィール

Jさん 葛飾区立の保育園。2歳児クラス担当。

Kさん 葛飾区立の保育園。2歳児担当。3年目で3歳と4歳を担当した。

Lさん 千葉の私立の保育園。2歳児担当。

Mさん 練馬区立幼稚園。以前は、横浜の私立の幼稚園にいた。年長の5歳児の担当。

● 食事について

司会 では、食事のことからお願いします。他愛のないことでいいので。

Jさん 水の出し方、蛇口のひねり方が難しい。出しすぎちゃったり。水の元のところを(ゆるめて、出る水量を)少なくして解決したんだけど。どっちにひねるのかわからなくて。

Mさん 5歳だって、水を飲もうと思って出しすぎちゃったりする。

Jさん フォークとか置いてあるときに、置き方を気をつけないときちんと持てなくて。自分で向きを持ちかえられないので、きちんと置かないとすんなり持てない。

Lさん 縦置きにしています。

Jさん 左ききの子は向きかえて置いてあげないと。どっちききかわからないときに、気をつけています。
(⇒子どもは、置いてあるフォークをそのまま手にとるため、右利きの子でも左側に置けば左で使ってしまったたり、置く向きによって握り方が変わったりすること。それに対する工夫は、保育園では普通におこなっているらしい。)

司会 フォークは？

Lさん 3歳のなかばから、手首や肩や肘が動くようになってから箸を使うようにしています。癖が一回つくると難しいので。

Kさん 3, 4, 5歳はフォーク。箸は使わせていない。

プロフィール【J:区立保育園】【K:区立保育園】【L:私立保育園】【M:区立幼稚園】

- Jさん 2歳からフォークを使っているところがあった。家でできてるなら箸を使う。20人いるうち、7人は家で箸を使っていました。個人差があって、箸が上手に使える子もいるし、かきこむ子もいる。
- Mさん すくい箸の癖がついている子もいる。
- 司会 途中は併用？
- Mさん 3つならんじやったりして。箸を普段つかっている子は箸を使う。
- 司会 食べやすいものとかありますか？
- Lさん 2歳はスプーンなので、すくえる大きさになっています。
- Jさん お皿を持ったりできるようになったら、フォークや箸を使えばいいですね。
- Mさん 家で、フォークや箸の使い方を教えてもらいます。ちょっと大きくなったら、自分で切って食べています。
- Lさん それだと咀嚼(そしゃく)できなくなるのでは？ 前に、りんごをずっと噛んでいる子がいたので。
- Kさん うち結構噛めない子がいる。飲み込めるものは飲んじゃうけど、噛まなきゃいけないものは飲み込めない。朝、食べない子は昼が待ちどおしくて、2回くらい噛んで、飲み込んじゃう。おかわりは食べた子からなので。それで、噛めない子がでてくる。
- Jさん (子どもが朝ご飯を食べてこないことに対して)食べないんだもの、って言う親がいます。
- Kさん 3歳くらいだと(朝食べないと)きついみたいで、かわいそうで。
- Lさん 噛めない子はいきなり大人の食べるものを与えても噛めないから。
- 司会 食器は？
- Jさん 割れても飛び散らないようなものを。でも、(今使っている物は)薄いので、ちょ

プロフィール【J:区立保育園】【K:区立保育園】【L:私立保育園】【M:区立幼稚園】

っと落としただけで割れちゃうし、飛び散らないといっても、破片でケガしちゃう子もいるので。

司会 厚くて割れない方がいい？

Jさん 1歳で、いやなことがあるとバア〜ンってやっちゃう子がいるので、厚い方がいい。でも、厚いのと薄いのを一緒に洗うと薄い方が割れちゃうので。

司会 やけどは？

Kさん やけどはないですね。先生が配るので。

Lさん (うちの園では)家庭的な雰囲気を出そうとしていて、陶器の食器とガラスのコップを使っていますけれど、子どもが割ることはなくて、食器に自分でよそって食べています。

Jさん 公立だと、〇ー157があつてから、子どもに配膳をさせてはいけない、って言っているところもあります。うちはエプロンを持ってきて配膳したり、5歳クラスは、カレー屋さんごっこみたいなことをやっていたのがとりやめになったり。

Lさん 上の子は、(配膳を)やりたい子がエプロンと三角巾で、配ったりしています。

Mさん 前の幼稚園は、小学校の給食みたいに子ども用のエプロンと帽子があつて、パンや牛乳(1リットル)を配っていました。そうすると苦手なものを少なくとか、好きなものは多くとか、加減できました。でも、シラミが発生したことがあつて、それ以降一切だめになった。先生も今は、ビニールの手袋をしているし、先生がつくるのもだめになって、延長保育のときに(子どもに出すお菓子も)個別包装のお菓子になった。衛生面がうるさいですね。

Jさん 家だったらこんなことはしないよな、ってことをしている。

Mさん 預かっている子どもなので大変だから。

Jさん 袋菓子なんかは、ちょっと切れ目をいれてあげて、それでもできない子もいる。

Mさん 幼稚園では仕出しのお弁当みたいなものをそれぞれに配るから。箸は持つてくるけど。

プロフィール【J:区立保育園】【K:区立保育園】【L:私立保育園】【M:区立幼稚園】

Jさん (保育園では食事など生活の場面に気を付けているので)この子は飲み込むのはへたとか、口にもものを入れたままにしているとか、全部分かつちゃう。

Mさん 幼稚園とそういうの(食事に対する意識)が違うんですね。

司会 食事の方針は？

Kさん 嫌いなものでも少しは食べなければいけない。

Jさん はじめて食べる味、っていうのはおいしくないらしくて。だから、何でも食べないと。

● 着替えについて

司会 障害のある子がいると変わりますか？

Kさん 障害のある子は、1人先生がつくから。1人ではなんにもできなくて、話すこともできないし、1人でふらふら行っちゃうので。3歳までならあんまり変わらないけど、それ以上になると、自分で遊べないから差があつて目立っちゃう。

司会 3歳児クラスくらいだと着替えが大変？

Jさん 先生によると思う。クラスによって。

Kさん お母さんが全部やっちゃう子もいるし。服の前後がわからないので、お母さんが前にしるしをつけている子もいる。

Jさん うちは虹の上履きをつかっている。両方あわせると虹がつながる。

Lさん ポッチをつけてほしい。市販の上履きは後ろをひっぱれないので、後ろにひもを通して、ひっぱって履けるようにした。チェーリングをつけていたこともあります。



Kさん ゴムのところに入れるまでが大変で、履きにくいですね。障害のある子なんかは難しくて。

Jさん 力の入れ加減も、ひっぱるのも。

司会 靴は？

Jさん ひも靴とか(子どもが1人で履けないから)だめだよね。それはお母さんの自己満足。夏になるとサンダルとか。サンダルでジャングルジムに登ると恐くて。

Mさん マジックテープに通してひっぱってくっつけるのは、一生懸命やっても遅くて。

Jさん 一番いいのはなんにもついていないもの。

Kさん かかとか丸くて大きくなっているのは、履きやすそうだった。

Jさん つっかけみたいなサンダルを履いている子もいる。そういうときは2足持ってきてもらって、保育園に来たら履きやすいのを履いて、ってしています。

司会 靴下は？

Jさん うちの上履きを履いたり脱いだりするので時間がかかるので、その時間をさくのがかわいそうで。上履きは非常時の時に履いて、床は板なので、靴下は脱いで裸足で。

Kさん 2歳まではじゅうたんだけ、3歳からは板なので、3歳から上履きを履く。

Lさん 0歳、1歳がじゅうたんで、3歳からは板。

(⇒園によっては、床材に関しては、それぞれ変化をつけている。)

3歳から板に変わる・はめ込み式のじゅうたんを使う等。

食事するところは板、または絶対シートをひく等こぼした時に対応している。)

● 工作について

司会 工作するときは？

Mさん のり、ありますよね。ふたをなくしちゃうので、カッチンのりといって、ふたがのりにくっついているものを使っている。ふたを閉めるときにカッチンって音がするので、閉まったのも分かるんです。

プロフィール【J:区立保育園】【K:区立保育園】【L:私立保育園】【M:区立幼稚園】

- Jさん 子どもは不器用だから、はさみとのりを使うときはスティックのりのほうが便利。塗るだけだと大和のりでいいんだけど。塗るのができない子はできないから。
- Mさん 薄くのばせばいいんだよ、って言っても、べちゃってなって。
- Jさん のりをつけるのは気持ち悪いからいやだ、っていう子もいるし。
- Mさん クレヨンがばらばらになっちゃうので、下箱にゴムがついているものをつかっています。つけて便利になったんだけど、年長くらいになると、ぐちゃぐちゃでもふたがちゃんとできるからいいって、いう感じで(私は)嫌ですね。
- Jさん 水道とかでもボタンにしちゃうと発達がねえ。
- Mさん はさみも、はさみの(片付け用の)袋を切っちゃって。今は、カッチンっていうケースがあるので、袋がなくなることはなくなったけれど。
- Jさん 持ち方も家で癖がついちゃうのがね。
- Mさん 変な風に切る子が増えた。
- Kさん 左利きの子って、左利き用のはさみがないので。親が右利きにしがたって。
- Jさん 左利き用のはさみって(他のはさみと)違うから(子ども達のあいだで)人気が出る。

● 遊びについて

司会 遊びについては？

- Jさん 箱積木(箱積木: 1辺が50センチ以上の大きな積木。この座談会の話をもとに総合すると、ほとんどの幼稚園・保育園にある遊び道具らしい)でケガをする子がいる。子どもはあれが大好きで、家を作ったり基地を作ったりするんだけど、あれが崩れたり、足の上に落ちたりすると危ないので片づけるようになった。
- Mさん 前の園は自由に遊んでいたんだけど、今のところは、背の高さ以上は積んじゃいけないんです、って言われて。
- Jさん ごっこあそびの延長線上で、(箱積木で作った)家に入ったりするのだけど、本

プロフィール【J:区立保育園】【K:区立保育園】【L:私立保育園】【M:区立幼稚園】

当は靴を脱いで入るのに、危ないから靴は履かせている。崩れるのと、運んでいてケガをする子がいるので。

Mさん 角がとれて丸くなると、崩れやすいのはこわいけれど、その方が安全だって話もあったけど。

Jさん 乗るのが好きだから、上に乗っかって。

Mさん (最近のものは)角はゴムみたいなもの。ほかは木。補強かもしれない。古い箱積み木は全部木で、角が丸くなった。

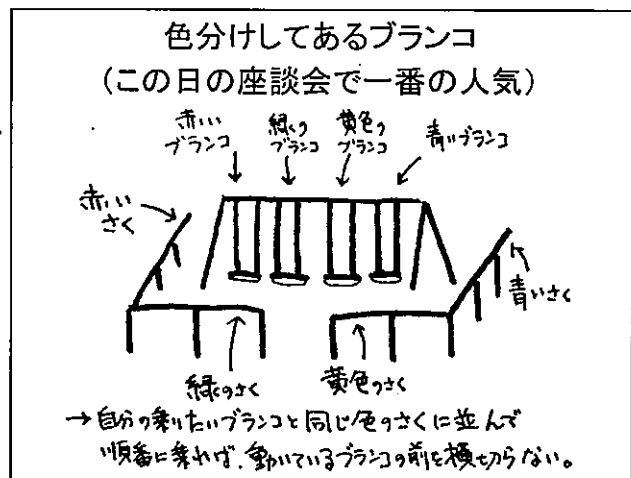
Kさん 結構重いんですよ。運んでいる時に離して、自分の足の上に落としたり。

Mさん 大きいのを運びたがるんだよね。

Jさん 遊ばせてあげたいんだけど、ずっとそこについていけないし。

司会 外遊びはあぶないですよ？

Jさん ブランコがあぶないですよ。ブランコが4つあったときに、うまく出られなくて。前の園では、ブランコの色とてすりの色をあわせて塗っていると、うまく出られるんです。並ぶときもそこに並ぶんですよ。



Mさん うち(前の部分の出入り口がなく)両サイドしかあいていない。ブランコは6こあるけど。

Jさん ジャングルジムやすべり台にひもをつけるのが好きで、でも、落ちたときに首にひっかかったりしたら危ない。ジャングルジムにかごをひっかけて、(遊びの的として)ここが10点とか、(ごっこ遊びで)ここが基地とかしているのが危ないときがあったりする。かごも入れてるときに(上から)落ちたりすると、下の子が、って思う。なわとびとかも鉄棒についてたり。

Mさん すごいことになっちゃうのがこわい。鞆で、すべり台にひっかかって死んじゃっ

たっていうのがあって、楽しそうな遊びだな、って思っても怖いケガにつながりそうになるので。

Jさん 子どもはメリハリをつけないと、どんどん発展しちゃって。保育園の約束、年齢的に、小さい子がいるからだめって、いうの(約束)がある。子どもは結構納得するけど。

Mさん 年長くらいだと、小さい子がいるからサッカーはだめよ、っていうと納得する。

Jさん すべり台のわきから降りるのが好きで、危ないな、って思うけど。小さい子がいると真似をするから、先生がいる時じゃないとだめ、っていつている。ブランコの飛び降りなんかもできないのにやるから。

● プールについて

司会 プール遊びは？

Lさん あります。

Mさん うち温水プールなので、1年中、月に2回くらいあります。3歳だと着替えができないので、1日かかりですね。先生は40人くらいに対して3人くらい、小さいと5人くらいつきます。プールサイドはざらざらして滑らないのをつかっています。ボタンをおして使えるドライヤーがあって、1分なら1分くらいガーって出るので。シャワーもボタンです。ボタンは下にもついています。ただ、眼洗いの水道が使いにくい。シャワーと連動してるみたいで(シャワーの使用によって水流が変わって)不便。手でお皿をつくってちょうどいいところにしなさい、って言っています。

Jさん 保育園では目洗いが無い。工夫しているようなのはないですね。乳児は庭にプールをつくるのですが、お湯をつかうので熱くて。砂場は猫が…。公園は柵がついているので、そういうのがあるといいけど。砂場にはシートをかけているんだけどめんどろで。

Kさん 2歳の着替えが大変。子どもをどこで着替えさせるのがいいか、部屋のほうが落ち着くのかどうか、って思って。

司会 プールは前後のほうが大変。

プロフィール【J:区立保育園】【K:区立保育園】【L:私立保育園】【M:区立幼稚園】

- Mさん 水に入っているときは気をつけているので、事故はあんまりないけど。
- Lさん 発作を持っている子がいて、プールにいるときに発作がおきて救急車を呼んだって先輩がいた。
- Mさん うちが1年中プールがあってそれが売りだから。外は制服なんだけど夏は体操服みたいなもので、4月5月に着替えさせるのが大変。季節にあった活動って大事だよ。
- Jさん ボタンとかできる子とできない子がいて、年齢じゃないよね。パジャマのボタンが互い違いになってたりして。
- Mさん そういう意味では保育園のほうがいいよね。
(⇒全体的に、保育園は食事や着替えなど子どもの生活に対する配慮に重点を置き、幼稚園は、プールや工作など学習に近いところに重点を置いている、という事例が何度も出ていた。)
- Jさん 先生の数が多いから、目もとどくし。生活に入っているから。

● 遠足について

- Mさん 中国や、韓国の子がいるので、肉じゃがとかはあまり食べない。中国の子なんかは、お弁当がぜんぶ餃子だったりして、それをみんなに言われたみたいで、次からはコンビニのサンドイッチだった。
- Jさん えー。そのままでもいいのにね。
- Kさん 今は、コンビニのものが多いですよね。
- Jさん 保育園ではお弁当なんて年に1回とかだから。
- Kさん 幼稚園のお弁当はすごく凝っている。
- 司会 お弁当の時と給食の時に気をつけることは？
- Mさん 水筒とか開けられなかったりして。

プロフィール【J:区立保育園】【K:区立保育園】【L:私立保育園】【M:区立幼稚園】

Kさん ちゃんと閉められなくて。

Jさん 遠足の1週間前から、水筒の練習をしている。4歳のお弁当は嵐だよ。

Mさん (お弁当箱のふたが)開けられなくて、(開いた時に中のものをこぼしてしまうという)悲劇が起こったり…。

司会 机と膝の上の違いは？

Jさん お知らせの時に、おにぎりとか、手で持って食べれるものを、って言います。親は一生懸命だから、一個一個ラップに包んでいたりして出すのに時間がかかったり。

司会 遠足の時は人が増えるんですか？

Jさん 学生のアルバイトを頼んだり(電車で移動するから)、ラッシュで混んでいてすごく大変だった。電車での遠足は子どもも慣れてきて、できるようになる。

Lさん 路線バスに乗るのにも大変なのに。喜ぶ子と、気持ち悪くなる子といるので、揺れるのに気を使う。

Jさん 電車では立たせておくよりも座らせちゃったほうが安心。乗り降りや改札は思ったよりできた。座ったほうが静かだから。隙間があいているところとか気になる。駅員さんがそういう時はいっぱいホームに出ているので安心。

Kさん うちもすぐ座らせちゃう。小さい子が長時間手すりを持って乗るなんて大変。4歳の時は見ているだけでも大変そうだった。

● 施設について

Jさん 水道の下にマットをしいてないと、水でタイルが滑ったりして、ケガをする子がいる。

司会 水道は子どもの高さか？

Mさん けっこうなっていますよね。

プロフィール【J:区立保育園】【K:区立保育園】【L:私立保育園】【M:区立幼稚園】

Kさん 子どもの年齢によって台をつかっている。

Jさん 年齢的に待ってられなくてけんかになっちゃったり、そういうのが多いですね。待ってられなくて、間隔がうまくとれないからちょっと間隔をあけてチョウチョとかのシールをつけちゃうんですよ。水道は3列なので、2列くらいにシールを貼ると、その上で待ってられる。2歳くらいだとはがしちやったりするけど、1歳で待ってられる時もあるので。



司会 そういう模様のマットでもいいんですよね？マークがついていれば。

Jさん 子どもは字が分からないから、マークやしるしを使う。トイレでも、靴を脱ぐところマークをつけて。

司会 ロッカーとかは？

Kさん ロッカーとかも個人で、マークをつけて。3歳くらいになると分かるようになるし。

Mさん 幼稚園でも、マークと名前を両方使って。年長くらいだと両方とも読めるけれど、マークをつけます。お母さんも持ち物にマークをつけている。そうすると落ちていても「なんとかちゃんの」というように分かるんです。

Lさん 部屋は色分けをしている。2歳はピンクとか、クラスカラーがあって。椅子とかもピンクのテープをまいたりしていますね。

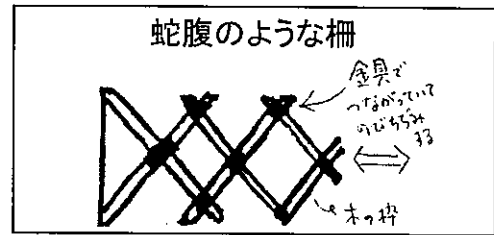
Mさん うちのクラスが4クラスあって、自分のクラスの子が把握できないので、クラスごとにカラー帽子をかぶっている。そうすると自分のクラスの子が色でわかる。

司会 トイレは、公共のトイレと比べてどうですか？

Jさん 下がちょっと見えるようになっている。ドアも取っちゃったり。小さくできているし。乳児さんは危ないですね。ドアを開けて閉めるのも遊びなんですよ。でも、指も挟むし、うしろに人がいたりするし。

プロフィール【J:区立保育園】【K:区立保育園】【L:私立保育園】【M:区立幼稚園】

Kさん 1歳の部屋に夏、じゃばらみたいなのをつけていたんだけど、それが危なくて手を挟んじゃったり。

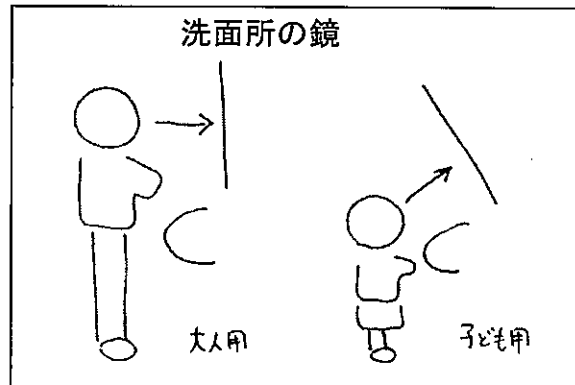


Jさん 大人だと、ぜんぶ低いじゃないですか。介助するときにてすりに頭をぶつけるんです。そうしたら、園長先生がぶつかってもいいようにスポンジをつけてくれた。子どもにあわせると大人が不便で。水道では腰が痛いし、テーブルが低いから、すねが真っ青で。

Kさん やってるときは夢中だから、気づかないけど。

Mさん 幼稚園が改築工事をしていて、トイレがホールのトイレを使っているの、水道が大人用の水道で、子どもの水道って使いにくいんだなあと思う。ボールが小さいから、びちゃびちゃしちゃって、深いのだと使いやすい。

鏡もふつうの鏡だから(子ども用は斜め)、「子ども用につくってるんだったなあ。」って思います。



Jさん 鏡って好きで、鏡のない水道には並ばない。

司会 ありがとうございました。

資料2:アンケート質問表

(1)おかあさん

「子どもの日常生活に関するアンケート」

このアンケートでは、日頃の生活の中で、「子どもが一人ではうまく出来ないこと」「子ども一人ではさせられないこと(危険などの理由で)」等をお答え頂きます。大人の目線では気付かないけれど、子どもにとってどんなことが「不便」であり「危険」であるのかという事例を多く知ることが目的です。子どもの年齢はだいたい3～9才くらいで考えています。

なお、アンケートの回答内容が個別に外部に出ることはありませんので、ご回答よろしくお願い致します。

1. 子どもさんの年齢・性別を教えてください。

(3～9才に該当しない子どもさんも含め、全員分お願いいたします。)

_____才[男 / 女]

_____才[男 / 女]

_____才[男 / 女]

_____才[男 / 女]

_____才[男 / 女]

_____才[男 / 女]

2. 以下の生活シーンで、注意していること・手助けしていることなどを、箇条書きで書いて下さい。

(特に思い付くことがなければ、空欄のままで結構です。)

(1) 家の中で、子どもにとって使いにくいところ。

EX) ・洗面台が高い。 ・タンスの引き出しが重くて開けられない。

(2) 家の中で子どもにとって危険なところ。

EX) ・お風呂で滑る。 ・子ども用の椅子が不安定。
・中からしかロックできないドアで閉じ込められる。

- (3) 家の中で、子どもにとって使いにくいものや危険なもの。
EX) ・名札の安全ピンがうまくとめられない。
・薬、細かいおもちゃなど間違って飲み込む。
- (4) 食事に関して、子どもが一人ではできないこと。
EX) ・おはしがうまく使えない ・ゼリーのパックなどがあけにくい。
- (5) 移動に関して、子ども一人では難しいことや、危険なこと。
EX) ・傘をさして歩くのが難しい。
・子ども用自転車にはライトがないものが多く危険。
・電車内につかまる場所が少ない。
- (6) 外出先の設備で、子どもや、子ども連れだと使いにくいところ。
EX) ・トイレが狭い。
・自動販売機の取り出し口から取り出しにくい。
・レストランの机の角に頭をぶつけた。
- (7) その他、気付いたことがあれば書いて下さい。
EX) ・判断力が充分でないと感じる事、PHSやパソコンなど
新しいモノに関する不自由さ使いやすさなど。

ご協力どうも有難うございました。

(2)おとうさん

「子どもの日常生活に関するアンケート」

このアンケートでは、日頃の生活の中で、「子どもが一人ではうまく出来ないこと」「子ども一人ではさせられないこと(危険などの理由で)」等をお答え頂きます。大人の目線では気付かないけれど、子どもにとってどんなことが「不便」であり「危険」であるのかという事例を多く知ることが目的です。子どもの年齢はだいたい3～9才くらいで考えています。

なお、アンケートの回答内容が個別に外部に出ることはありませんので、ご回答よろしくお願い致します。

1. 子どもさんの年齢・性別を教えてください。

(3～9才に該当しない子どもさんも含め、全員分お願いいたします。)

_____才〔男 / 女〕

_____才〔男 / 女〕

_____才〔男 / 女〕

_____才〔男 / 女〕

_____才〔男 / 女〕

_____才〔男 / 女〕

2. 以下の生活シーンで、注意していること・手助けしていることなどを、箇条書きで書いて下さい。

(特に思い付くことがなければ、空欄のままで結構です。)

(1) 家の中で、子どもにとって使いにくいところや危険なところ。

EX) ・洗面台が高い。 ・お風呂で滑る。 ・子ども用の椅子が不安定。

(2) 家の中で、子どもにとって使いにくいものや危険なもの。

EX) ・薬、細かいおもちゃなど間違えて飲み込む。

・おもちゃで叩きあって、けがをする。

(3) 車での移動に関して、危険なことや気をつけていること。

EX) ・ドアで手をはさむ。

・チャイルドシートを嫌がるのでおもちゃなどを付けて工夫している。

(4) 電車での移動に関して、危険なことや気をつけていること。

EX) ・券売機が高すぎて届かない。 ・車内でつかまるところが少ない。

(5) 自転車・歩行等に関して、不自由なことや危険なこと。

EX) ・子どもは傘をさして歩くのが難しい。

・男性用の自転車で子どもを乗せられるものが少ない。

(6) 外出先の設備で、子どもや、子ども連れだと使いにくいところ。

EX) ・トイレが狭い。 ・自動販売機の取り出し口から取り出しにくい。

・レストランの机の角に頭をぶつけた。

(7) その他、気付いたことがあれば書いて下さい。

EX) 判断力が充分でないと感じること、PHSやパソコンなど
新しいモノに関する不自由さ使いやすさなど。

ご協力どうも有難うございました。

(3) 保育士／幼稚園教諭

「子どもの日常生活に関するアンケート」

このアンケートでは、日頃の生活の中で、「子どもが一人ではうまく出来ないこと」「子ども一人ではさせられないこと(危険などの理由で)」等をお答え頂きます。大人の目線では気付かないけれど、子どもにとってどんなことが「不便」であり「危険」であるのかという事例を多く知ることが目的です。

子どもの年齢はだいたい3～9才くらいの範囲で考えていますが、今担当されている子どもさんについて書いて頂ければと思います。

なお、アンケートの回答内容が個別に外部に出ることはありませんので、ご回答よろしくお願い致します。

1. 子どもとの関わりについて教えてください。

〔 公立 / 私立 〕 の 〔 幼稚園 / 保育園 〕 に勤務。

_____ 才児クラスの担当。

(子ども _____ 人を、先生 _____ 人で担当)

2. 以下の生活シーンで、注意していること・手助けしていることなどを、箇条書きで書いて下さい。

(特に思い付くことがなければ、空欄のままで結構です。)

(1) 着衣・身支度等に関して、子ども一人ではできないことや難しいこと。

EX) ・くつの左右が分からない。 ・服のボタンがとめられない。

(2) 食事に関して、子どもができないこと。

EX) ・水筒のふたがあげられない。

・スプーンを使っても、手首がうまく使えないので食べにくそう。

(3) 工作・中遊び等の時間に困ること。気をつけていること。

EX) ・箱積み木でのけがが多い。 ・のりのふたがすぐなくなる。

(4) 外遊び・プールの時間に気をつけていること。

EX) ・ブランコの出入りが危険。 ・くつはかかとを踏まず、きちんと履かせる。

(5) 子どもが使いにくい園内設備(水道・トイレ・電気等)。

EX) ・水道の蛇口をうまくひねることができない。 ・タイルが滑りやすい。

(6) (1)～(5)以外に気付いたことがあれば書いて下さい。

3. 子ども達に分かりやすい工夫をしていることがあれば教えて下さい。

EX) ・個人のものやロッカーを区別するためにマークを利用している。

ご協力どうも有難うございました。

資料3:アンケート回答一覧

以下の表は、アンケートの回答を、設問ごとにまとめたものである。
 表1は両親からの回答一覧、表2は保育士等からの回答一覧である。
 なお、表内の小見出しは本文6ページの「不便さの項目」に対応している。

文章は、分かりにくい表現のみ、一部言葉を書き換えた。
 また以下の点に関しても、特に編集を加えずそのまま掲載した。
 * 同じ回答があるが、子どもの年齢が違う場合。
 * 似た内容の回答が他の設問のところにある場合。
 * 「交通手段」に関しては、父親と母親とで設問が違うためそれぞれ設問ごとに掲載。

回答	回答者	子ども			
1.室内で使いにくい所					
段差					
玄関の土間からの上がり口のの高さが高すぎる(3歳児)	●父	5△	3△		
部屋と部屋のちょっとした段差に子供がつまづく(遊びや他のことに気をとられて)	●父	6▲	4▲		
和室の洋室の段差で転ぶ	●父	4▲			
ドア・窓					
玄関のチェーンをかけたたりはずしたりできない	○母	4▲	1▲		
玄関のドアが重い	○母	6▲	4▲		
サッシの戸が重い、開けられない	●父	4▲			
まわしてあけるドアや蛇口	○母	4▲	2▲		
玄関のドアが重い	○母	5△	3▲		
風呂場					
お風呂のふた	○母	5△	1▲		
お風呂の浴槽が高い	○母	6▲			
お風呂の浴槽に入れない(高い深い)	○母	5△	3△		
お風呂の風呂桶が高くて入りにくい	○母	5△	3▲		
浴槽が深いので、1人で出入りできない風呂用の腰掛けいすを踏み台にしているが、いつ滑るか心配	○母	3▲			
シャワーが自分で使えない	○母	7▲	4▲		
風呂の給湯口が熱い	○母	7▲			

回答者の表記:母親:○母 父親:●父
 子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
脱衣所がすべりやすい	○母	3▲	1△		
洗面所					
水道の栓が固いと回せない	○母	5△	3△		
水を出す時、調節がうまくいかず出しすぎてびしょびしょになる	○母	9▲	6▲	5△	
洗面台が高い	○母	14▲	12▲	9△	5△
洗面台が高い	○母	3▲			
洗面台が高い	○母	5△	1▲		
洗面台が高い	○母	5△	3△		
洗面台が高い	○母	6▲	4▲		
洗面台が高い	○母	6▲	4▲		
洗面台が高い	○母	7▲	4▲		
洗面台が高い(いすを使用)	●父	6▲	3△	1▲	
洗面台が高い(台を置いても蛇口をひねる時には届かない)	○母	5△	3△		
洗面台が高い	●父	4▲			
洗面台が高く、蛇口に手が届かない	○母	10▲	3▲		
洗面所・トイレの高さ(台をもってくれば調節できるが)	○母	5△	3▲		
洗面台が高い	○母		3	2	
洗面台の高さ	●父	3▲			
洗面台の蛇口に手が届かないので、踏台を使っている、が、バランスを崩してひっくり返った子供が二人	○母	13△	10△	8△	5△
洗面台・トイレの手洗い(台が必要)	○母	8△	6▲		
トイレ					
トイレおしっこがとびやすくパンツがぬれる	○母	4△			
トイレが狭い(大人と一緒に入れない)	○母	7▲			
トイレが高い	○母	3▲	1△		
トイレの座面が高い	○母	7▲			
トイレの便座が大きすぎる	○母	7▲	4▲		
トイレの便座に座る時手をかける場所があると便利	○母	8△	4△	3△	
トイレの手洗いは届かないスペースが小さく洗にくい	○母	13△	10△	8△	5△
トイレはセンサーで照明が反応するようになっているが、小さい子だと反応しない	○母	14▲	12▲	9△	5△
洋式便所が高い	○母	6▲	4▲		
台所					
台所の火の回りを注意	●父	3▲			
台所にしっかりした台が欲しい	○母	9▲	6▲	5△	

回答者の表記:母親:○母 父親:●父
 子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
食器棚の棚が高く手が届かない	○母	6▲			
食器棚の上段にお菓子などを入れておくとゴミ箱に登って取ろうとする収納できる踏み台などあれば良い	●父	14△	9▲		
冷蔵庫から食べ物を出せない	○母	5△	3△		
机・椅子					
子ども用椅子が使いにくい(子どもが自分で座るには、机から離すか、隣の椅子に乗ってからでないと高く座れない机から離れて座ってしまうと、自分では前に戻せない)	○母	6▲	4▲		
子ども用の椅子が不安定	●父	4▲			
食卓椅子(子供用)の乗り降り	○母		3	2	
椅子の高さのせい、食事中、テーブルでものをこぼしやすい	●父	7▲			
食卓と椅子の高さ	○母	7▲			
テーブルが高い特にこたつ台	○母	7▲			
勉強机の一番上の棚に手が届かない	○母	6▲			
椅子が重い	○母	5△	3△		
勉強机・椅子が重く移動が大変(シンプルで良いから使いやすく軽くしてほしい)	○母	14▲	12▲	9△	5△
電気機器					
電気のスイッチが高い	○母	3△			
電気のスイッチが高い	○母	4▲	0△		
電気のスイッチが届かない	○母	2▲			
電灯のひもスイッチが高い	●父	7▲			
部屋の電気のスイッチが高い	○母	5△	3△		
部屋の電気のスイッチが高い	○母	8△	6▲		
夜電気のスイッチが分かり難い	○母	4▲			
電気のスイッチの位置が高い自分の椅子にのぼり、自分で付けることもあるが、急いでいる時など、その度に親が行っている	○母	3▲			
電気のスイッチの高さ	○母	5△	3▲		
インターホンの受話器の取り付け位置が高い	○母	5▲	1△		
インターホンの位置が高いので、届かない	○母	13△	10△	8△	5△
その他					
お片づけ用の引出しを下の子がいたずらする	○母	5△	1▲		
タンスの引出しが重くて開けられない	○母	5△	1▲		
タンスの引出しが重くて開けられない	○母	5△	3△		
タンスの引出しが重くて開けられない	○母	6▲	4▲		
引出しのスライドレールにガタがきていて開閉しにくい	○母	5▲	1△		

回答者の表記:母親:○母 父親:●父
 子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
ものほしざおがなくて届かない	●父	7▲			
子ども用のスリッパが脱げやすい	○母	4▲			
自転車を裏庭から玄関へ(部屋を通過して)持ってこれない	●父	7▲			
駐車場内、及び駐車に通じる外階段が雨に濡れるとすべる	●父	7▲			
部屋で子どもの自由になる場所が無い(落書き・貼り付け・汚してもいい床、壁)	○母	7▲			

2. 室内で危険な所

階段

2階の階段の電気のスイッチがちょうど階段を上がったところの上にあり、危険	○母	5△	1▲		
2階の階段の踊り場で遊んで落ちそうになる	○母	5△	3△		
2階の窓から身を乗り出せるので、転落の危険性がある	○母	4△			
階段	○母	13▲	7△		
階段が狭い	○母	4△			
階段に滑り止めがない滑って転び落ちやすい	○母	5▲	1△		
階段の降り口	●父	6▲	3△	1▲	
急な階段	○母	7▲			
狭くて急で手すりのない階段	○母	4▲			
階段四人とも、一度は足を踏み外して滑り落ちたこと有り	○母	13△	10△	8△	5△

段差 及び床

部屋の段差で転んでしまう	○母	2▲			
和室との段差	○母	4▲	0△		
和室の段差	○母	5▲	1△		
フローリングの床ですべる	○母	10▲	3▲		
フローリングの床ですべる	○母	5▲	1△		
フローリングの床にワックスをかけると滑って転ぶ	○母	5△	3△		
床に落ちた新聞紙、うちわなどで滑って転ぶ	○母	4△			
玄関を出たところのステップでこぼれドアが開くのに必要なスペースに対して、ステップが狭い	○母	13△	10△	8△	5△

ドア・窓

ドアの取手が高いところにあって届きにくい	○母	7▲	4▲		
ドアのノブに洋服などが引っかかる	○母	7▲			
玄関のドアが重い	○母	3▲	1△		
玄関のドアが重く指をはさみそう	○母	4▲	0△		
玄関のドアなどのかどの透間	○母	5△	1▲		
ドアを開けたときの隙間(重い玄関ドアに手が挟まる)	○母		3	2	

回答者の表記:母親:○母 父親:●父

子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
部屋のドアを勢いよく閉めた時に子どもの指がかかっているはさんでしまう静かに閉まるような工夫が欲しい	○母	9▲	6▲	5△	
玄関のドアが重いので手をはさむ	○母	5△	3▲		
ドアのちょうづかい側と壁の透間(開けた時に手・指が隙間に触れていたのに気付かずドアを閉めてしまい、はさんだことがある)	○母	6▲	4▲		
ドアが自動的に閉まってしまうので、指つめの危険性あり	○母	4△			
ドアに手をはさむ	○母	14▲	12▲	9△	5△
ドアに手をはさむ	●父	5△	3▲		
ドアに手を挟まないか不安(マンションは風が強く強く閉まる)	●父	3▲			
ドアの隙間に手をはさむ	○母	10▲	3▲		
ドアのちょうづがい側とかべの隙間	○母	9▲	6▲	5△	
サッシの扉に手をはさむ	○母	9▲	6▲	5△	
サッシやドアに手を挟まれる	○母	13▲	7△		
ドア、障子、唐紙の間に指をはさむ	○母	5△	3△		
引き戸の隙間に手を入れて、そのままはさんでしまう	○母	9▲	6▲	5△	
押し入れ等引き戸で指をはさむ	○母	5△	3△		
ドアを閉めた時、足の指をはさんだ	○母	7▲	4▲		
ドアを引いた時、ドアの下の隙間に足の指をはさんだ	○母	4▲	2▲		
扉の下の部分で足の指を怪我する	○母	5△	3△		
ドアの一番下の部分で足をはさむ	○母	4▲			
中からしかロックできないドアで閉じ込められる	○母	3▲			
中からしかロックできないドアで閉じ込められる	○母	4▲	2▲		
中からしかロックできないドアで閉じ込められる	○母	5△	3△		
中からしかロックできないドアで閉じ込められる(赤ちゃんの頃)	○母	8△	6▲		
トイレに入りの鍵を最近よくかけているマイナスドライバーなどで外から開けられるから良いが、それが出来ないとこわい	○母	3▲			
ベランダへの出入り口	●父	6▲	3△	1▲	
出窓のところに乗って鍵をあけてしまい落下しそうになった	○母	4▲	2▲		
窓(サッシ)	●父	6▲	3△	1▲	
窓のかぎがあげやすい	○母	3▲	1△		
窓のところに上ってしまう	○母	2▲			
マンションの窓に1本の手すりがついているがバルコニーとか無いので、乗り出すと下に落ちる可能性がある	○母	5△	3▲		
風呂場					
お風呂ですべておぼれそうになる	○母	5△	3△		
お風呂ですべる	○母	3△			

回答者の表記:母親:○母 父親:●父

子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1: アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
お風呂ですべる	○母	4▲	2▲		
お風呂ですべる	○母	6▲	4▲		
風呂場ふざけているうちに滑る	○母	13△	10△	8△	5△
浴槽内で滑っておぼれそうになった	●父	3▲			
お風呂の温度調節をいつの間にか高い方にしている熱湯が出ることもある	○母	4▲	1▲		
シャワーの温度調節	○母	4▲	0△		
お風呂の湯せんの水道管が、熱くなり火傷しやすい	○母	5△	3▲		
お風呂のサーモ付水栓金具(ゆるくてお湯が出しっぱなしになることがある)	○母	5▲	1△		
お風呂の段差	○母	5▲	1△		
お風呂の水道の蛇口に頭をぶつけた	○母	4▲	2▲		
水道の蛇口が大きい固い	○母	5△	1▲		
トイレ					
トイレ(大人用)	○母		3	2	
トイレが狭くてよじ登るのに苦労している	○母	4△			
台所					
ガス台の位置に子どもの顔がくる	○母	8△	4△	3△	
キッチンの流しの下棚の扉についている包丁置き	○母	4▲			
グリルが低い位置にあって子どもにも簡単にあげられてしまう	○母	4▲			
台所のコンロが子どもの目線なのでキケン	○母	10▲	3▲		
包丁が入っている台所のドア	○母	5▲	3▲		
電気機器					
ホットプレートでやけど	○母	5△	3△		
洗濯機のボタンを押す中が回るころや、水が出てくるころなどをみたくらしく、椅子を持ってきて中をのぞきこんでいる	○母	3▲			
置いてある位置も問題なのだが、炊飯中の湯気の出ている炊飯器に興味があって、手をのばそうとするボタンを押すのも楽しいらしく、保温中の炊飯器を消してしまう	○母	3▲			
机・椅子					
カウンターテーブル・ピアノに頭をぶつけやすい	○母	6▲	4▲		
椅子が不安定	○母	4▲	2▲		
キャスターのついた椅子折り畳みの椅子	○母	4▲	2▲		
子ども用の椅子が不安定	○母	5△	3△		
その他					
ベランダの室外機に乗ってさくから落ちそうになった	○母	4▲	2▲		

回答者の表記: 母親: ○母 父親: ●父

子どもの表記: 年齢(数字) + 性別(▲: 男児 △: 女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

7/18

回答	回答者	子ども			
ベランダの塀	○母	3▲	1△		
ビデオ・テレビ台の扉がガラスそのものでキケン枠等つけて欲しい	○母	8△	4△	3△	
テレビ台のガラス戸とガラス戸の角	○母	4▲	2▲		
ピアノの周り(ピアノのふたが倒れやすい)	○母	6▲	4▲		
仏壇の灯でやけど	○母	5△	3△		

3.室内で危険なもの

ドア・窓

ドアノブは、オーソドックスな丸いものは、握れず、回せずで、1人であけられない出入りが自由にできず、かえってよかったと思うときと、ハンドルタイプで自分でできてよかったと思うときと、両方あり

○母

3▲

台所

洗剤、包丁などの収納場所は、従来低いところにあるので、気をつけなければいけない

○母

3▲

冷蔵庫の扉ポケットに沢山入れすぎると自然にしまっ指をはさむ

○母

7▲

冷蔵庫の扉をバーンと開けた時、反動でかえってくる扉にぶつかりそう

○母

4△

冷凍庫が一番上にあるタイプの冷蔵庫は、氷を一人ではとれない

○母

13△

10△

8△

5△

机・椅子

テーブルの角

○母

4▲

2▲

テーブルの角

○母

5▲

1△

テーブルと椅子が大人サイズだと食事がうまくてできない

○母

7▲

4▲

勉強机・椅子が重い

○母

14▲

12▲

9△

5△

電気製品

ストーブ

○母

5▲

3▲

火のついたストーブのそばでふざける

○母

7▲

ストーブの火をつけるのが一人では不安

ソーラーでお湯が熱くなっているとき、混合栓の蛇口のレバー調節ができないことがある

○母

13△

10△

8△

5△

ソーラー給湯とボイラー給湯の切り替え予測がつかないので、急にお湯が水に変わるときの対応ができない

○母

13△

10△

8△

5△

電気製品のコードにつまづく

○母

13▲

7△

電話の受話器が重くて大きいのでうまく支えられない

○母

4△

ビデオテープを出し入れするのに、手が飲み込まれそう

○母

4△

ビデオの出し入れで手をはさむ

○母

2▲

回答者の表記:母親:○母 父親:●父

子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
		年齢	性別	年齢	性別
ビデオの使い方が複雑でわかりにくい、	●父	7▲			
誤飲					
お菓子の防腐剤を食べてしまった	○母	4▲	0△		
クレヨンやねんど(バナナやチョコレートなど香りつきのもの)を口に入れてしまう	○母	3▲	1△		
誤飲	○母	3▲			
誤飲	○母	4▲	2▲		
誤飲	○母	5▲	1△		
食べ物のカタチをしたおもちゃ・薬等の誤飲	○母	5△	3△		
小さなおもちゃビービー弾を子どもが鼻の中に入れたことがある	○母	6▲	4▲		
薬、細かいおもちゃなど間違っって飲み込む	●父	6▲	3△	1▲	
薬、細かいおもちゃなど間違っって飲み込む	○母	5△	3▲		
着衣					
Tシャツで首周りが小さく着脱時に耳にひっかかる	○母	7▲			
靴下の左右	○母	4▲	0△		
くつひもがうまく結べない					
洋服は、首が抜けにくいボタンが難しい	○母	5△	3△		
赤い羽根等の針先	○母	6▲	4▲		
安全ピンがうまくとめられない	○母	5▲	1△		
安全ピンがうまくとめられない	○母	6▲	4▲		
安全ピンがうまくとめられない(5才でも無理)	○母	5△	3△		
安全ピンがうまくとめられない穴をあけてしまう	○母	6▲			
名札の安全ピン	○母	5△	3△		
名札の安全ピン	○母	7▲	4▲		
名札の安全ピン(洋服に穴があいている)	○母	7▲			
名札のピン止めが一人でつけさせるのは不安	●父	7▲			
名札の安全ピンがうまくとめられない	○母	5△	3▲		
名札の安全ピンがうまくとめられない(要介助)	●父	6▲	3△	1▲	
その他					
オーディオボードの取手(つまみ)	○母	6▲	4▲		
家具の角	●父	5△	3▲		
子どもの顔の高さの家具の角	○母	8△	6▲		
おもちゃで叩きあって、けがをする	●父	6▲	3△	1▲	
先のとがったおもちゃを踏んで痛い思いをした	○母	4▲	2▲		

回答者の表記:母親:○母 父親:●父
 子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
分別のない間は、手の届かないところにおいていたので特に無かった	●父	3▲			
サラララップ	○母	5△	1▲		
水銀体温計	○母	5△	3△		
はさみ	○母	5△	3△		
はさみ	○母	5▲	3▲		
歯ブラシを口の中に入れてそのまま歩いたり走ったりする	○母	5△	3△		
歯ブラシを口の中に入れてそのまま走ったり飛んだりして転んで口の中を切ったりする	○母	4▲	1▲		
針	○母	5△	3△		
ハンガーに洋服が上手くかけられない	○母	5△	1▲		
まっち	○母	5△	3△		
目薬を一人でさすのは難しい	○母	9▲	7▲	1▲	
ものさし	○母	5△	3△		
ランドセルが重い	○母	7▲			
鉛筆(もっと太い方がいい)	○母		3	2	

4. 食事に関して

食事

ハンバーグなど一口大に切れない	○母	5△	1▲		
小さく切ってあげるなど気配りが必要	○母	7▲	4▲		
飴玉・コンニャクゼリーをのどに詰まらせた子がいた	○母	4▲	2▲		
氷のサイズを小さくして、と言われる	○母	3▲			
熱いものが食べられない	○母	4△			
魚の骨がとれない	○母	4▲	0△		
たまごを割る	○母	5▲	1△		
お箸、ナイフとフォークをうまく使えない	○母	5▲	1△		
フォークとナイフがうまく使えない	○母	7▲	4▲		
お箸がうまく使えない	○母	3△			
お箸がうまく使えない	○母	4△			
お箸がうまく使えない	○母	4▲	0△		
お箸がうまく使えない	○母	5△	3△		
お箸がうまく使えない	○母	6▲	4▲		
お箸がうまく使えない(3才)	○母	5△	3△		
お箸がうまく使えない	○母	5△	3▲		
お箸の正しい持ちかた	○母	13△	10△	8△	5△
茶碗についたごはん粒が最後集められない	○母	4▲			

回答者の表記: 母親: ○母 父親: ●父

子どもの表記: 年齢(数字) + 性別(▲: 男児 △: 女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

10/18

回答	回答者	子ども			
おわんが深くてひっくりかえす	○母	7▲			
必ずこぼす(洋服のそでを食器にひっかけるたべかすを沢山落とす)	○母	7▲			
茶碗・コップ等食器が滑りやすい	○母	4▲	2▲		
テーブル上で横にあるものを肘などでひっくりかえす	○母	7▲			
食事包装					
紙パックについているストローが取れない	○母	6▲	4▲		
紙パックのジュースについているストローがあけられない	○母	2▲			
缶ジュース・ペットボトルのふたがあかない	○母	14▲	12▲	9△	5△
ビンの栓があけられない	○母	5△	3△		
ストローなど、ビニール、紙から出せない	○母	3▲			
ストローなど穴にさせない	○母	3▲			
パックにストローをさしたものは、子どもが持つとストローから飲み物が吹き出してしまう	○母	13▲	7△		
ストローをかんでしまうので、すぐ使えなくなり、中身が残ってしまう	○母	4△			
ゼリー、ヨーグルトのパックはもちろんあけられない	○母	3▲			
ゼリーのパックがあげにくい	○母	3▲			
ゼリーのパックがあげにくい	○母	5△	1▲		
ゼリーのパックがあげにくい	○母	5△	3△		
ゼリーのパックがあげにくい	○母	6▲	4▲		
ゼリーのパックがあげにくい	○母	6▲	4▲		
ゼリーのパックがあげにくい	○母	8△	6▲		
ゼリーのパックなどがあげにくい	○母	5△	3▲		
ヨーグルト・ゼリーなどのフィルムのふたがあけられない液がこぼれる	○母	6▲			
お菓子の袋をギザギザのところからあける時横からこぼれる	○母	5▲	1△		
納豆のたれが上手くあけられないあける時に中身が飛び散る	○母	9▲	7▲	1▲	
納豆のたれをあける時に中身が飛び散る	○母	10▲	3▲		
スライスチーズのラップがあけられない	○母	3▲			
ソーセージがあけられない	○母	2▲			
1リットルの牛乳パックがあけられない	○母	5▲	3▲		
牛乳パックの口がうまくあけられない	○母	3▲			
牛乳パック(一度あけてある)があげにくい	○母	4▲	1▲		
牛乳パックが注ぎにくいようでよくこぼす	○母	5△	3△		
しょうゆ、ソース、牛乳などうまく注げない	○母	5△	3▲		

回答者の表記:母親:○母 父親:●父

子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

11/18

回答	回答者	子ども			
ドレッシングの量の加減ができず、どぼっと出てしまう	○母	5▲	1△		
醤油などちょっとだけ小皿に注ぐこと	○母	13△	10△	8△	5△

5. 移動に関して

歩行・道路

ガードレールがない、路上駐車などの理由でやむを得ず車道を通らないと行けない時	○母	4▲	2▲		
道路にガードレールがついていないところが多く歩いている時こわい	○母	3△			
歩道のないところが多い	○母	13△	10△	8△	5△
歩道が狭いところ	○母	3▲	1△		
歩道が狭くトラックなどが通るとあおられる	○母	4▲	0△		
歩道と車道が白線だけで区切られているところ	○母	6▲	4▲		
違法駐車車で、むこう側が見えない、ゆえに道を渡るときあぶない	○母	13△	10△	8△	5△
信号のない大きな道路の横断	○母	5△	3△		
道路の横断	○母	7▲			
公園が道の両側にあるため、移動が危険	○母	5△	1▲		
歩道を歩いている時、電柱や看板、道路標識などの支柱に阻まれ、歩けなくなったり、足下を見たり、傘を差しているときなど、ぶつかりそうになっている	○母	3▲			
花壇や植木の枝が飛び出していて、目にささりそうになる	○母	4▲	2▲		
道路が悪いので水溜まりが多い	○母	4△			
街灯が少なくて真っ暗なところがある	○母	4△			
歩行者用の信号が青でも右左折車が勢いよくまがってくる	○母	7▲			
細い路地からクルマが飛び出してきて引かれそうになった	○母	4▲	2▲		
脇道、小道からヒュッと出てくる人や自転車には、とても対応できないカーブミラーなども見ることはできないし	○母	3▲			
大きい荷物を持っている人かばんが、顔、頭、などにぶつかり、ポンとあたってよろけたこともある(自分がどれくらいのスペースをとっているのか、自覚してほしいものだ)	○母	13△	10△	8△	5△
革靴がすべる	○母	7▲	4▲		
カッパの帽子が目の部分を覆ってしまうので、前が良く見えない	○母	14▲	12▲	9△	5△
雨の日滑りやすい	○母	8△	4△	3△	
雨の日は駅の中がすべりやすい	○母	4▲	1▲		
傘をさしての歩行	○母	3▲			
傘をさしての歩行	○母	5△	3△		
傘をさしての歩行	○母	6▲	4▲		

回答者の表記:母親:○母 父親:●父

子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

12/18

回答	回答者	子ども			
傘を差しての歩行	○母	5△	3△		
傘をさして歩くのが難しい	○母	5△	3▲		
傘をさして歩くのが難しい傘も重い	○母	13△	10△	8△	5△
子供自身、道を渡るのか渡らないのか、止まるのか止まらないのか、よけるのか、立ち止まるのか、の判断が遅い	○母	13△	10△	8△	5△
クルマから背の低い子どもは見えにくい	○母	5△	3△		
歩きながら煙草を吸う人煙草の火が、丁度子供の顔のあたりにくる	○母	13△	10△	8△	5△
歩きたばこの火がつきそうになった	○母	4▲	2▲		
自転車					
子ども用自転車にライト・鈴・鍵を別に設置した	○母	6▲			
子ども用自転車にはライトがないものが多く危険	○母	5△	3▲		
子供の自転車の暴走	○母	5△	3▲		
電車(及びバス)・駅設備					
駅の階段・エスカレーター	○母	5▲	3▲		
駅の階段が歩きにくい	○母	3▲	1△		
駅など階段が多すぎる(ベビーカーを持っていると大変)	○母	2▲			
駅は階段が多い(エスカレーター・エレベーター・せめてスロープがもっと欲しい)	○母	4▲	2▲		
ベビーカーだと階段が不便	○母	4▲	0△		
ベビーカーを使用していたころは、駅のホームにエレベーターを付けてほしいと思ったないところは、危険だといわれつつもエスカレーターを使った抱っこバンドを使って外出したときは、せめてエスカレーターだけでもついてほしいと思ったあの重さは、経験した人でないとわからないくらい、かなり腰などに負担がかかるため	○母	3▲			
自動改札	○母		3	2	
電車とホームとの隙間がキケン	○母	2▲			
電車とホームの間が広い	○母	4▲	2▲		
電車とホームの間が広い	○母	5△	3△		
電車とホームの間が広い	○母	8△	4△	3△	
電車とホームの隙間	○母		3	2	
電車内でつかまる場所が少ない	○母	3▲			
電車内でつかまる場所が少ない	○母	5△	3△		
電車内でつかまる場所が少ない	○母	6▲	4▲		
電車内でつかまる場所が少ない	○母	8△	6▲		
電車内でつかまる場所が少ない	○母		3	2	

回答者の表記:母親:○母 父親:●父

子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
電車内でつかまる場所が少ない	○母	13△	10△	8△	5△
電車内でつかまる場所が少ない	○母	5△	3▲		
電車やバスに乗る時、子どもをベビーカーに乗せたまま乗れない	○母	4▲	2▲		
バスのステップが高い	○母	4▲	2▲		
バスの乗り降りのステップ差が大きく、手をひかないと歩けない	○母	3▲			
バスは座っても不安定(一人用に座ると奥まで座っても左右に揺れる前座席の手すりには届かないひざに抱いて座るには狭い)	○母	6▲	4▲		
長い電車区間で子どもがあきてじっとしていることができない	○母	7▲			
自動車					
おしりの下にしくタイプのチャイルドシートは、子どもが寝てしまった時に困るベルトをはずすわけにもいかず、リクライニングを倒しても不自然な姿勢になってしまう	○母	4▲			
車のドアの開閉で指をはさむ	○母	4▲	0△		
車のドアをロックしてしまって、閉じ込められる	○母	4▲	0△		
チャイルドシートが面倒	○母	4△			
チャイルドシートの設置が面倒	○母	5▲	1△		
駐車場で隣の車にドアをぶつけそうで心配	○母	4▲			
外出先の設備					
エレベータのドアにはさまれる	○母	4▲	1▲		
エレベータのドアにはさまれる	○母	4▲	2▲		
自動ドア	○母	5▲	3▲		
自動ドアを踏んでも開かない	○母	5△	3△		
ドアが重く開けられない	○母	5△	3△		
その他					
すべての乗り物に子ども用シートがない特に飛行機だとスクリーンが見えない	○母	6▲			
タバコを持っている人がタバコを持ったまま手を下げた時、幼児の顔のあたりに火がくるので非常に危険	○母	5△	3▲		
6. 車について					
シートベルトが首にかかる	●父	7▲			
助手席に座るときにシフトノブを足で蹴ることがある	●父	7▲			
助手席のもの入れを開けたがる(コップ置きになっている)のでブレーキ時危険	●父	7▲			
チャイルドシートには、物心付く前から乗せて習慣づけた	●父	3▲			

回答者の表記:母親:○母 父親:●父

子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
ドア・窓の開け閉めの際に手をはさむ	●父	5△	3▲		
ドアで手をはさむ	●父	6▲	3△	1▲	
1ボックスカーのスライドドアが危険	●父	4▲			
ドアで手をはさんだ経験ありはさみ防止機構、衝撃が違うときに止まるとか欲しい	●父	14△	9▲		
ドアに手をはさむ、一度やったことがありこわいので大人も見るようにしている	●父	9▲	7▲	1▲	
ドアの開閉、シートベルトの着装	●父	6▲	4▲		
ドアを急に開けるのでとなりの車にぶつける	●父	4▲			
乗り降りの時のまわりの状況、他の車	●父	5△	3△		
バイクの後席に乗ると前が見えないので横から顔を出す	●父	7▲			
駐車場で遊ばせない	●父	4▲			
道路、駐車場など陰からの飛び出し	●父	5△	3▲		
子どもが真夏の車内に置き去りにされ死亡する事故は防げないのか？動作や泣き声を感知するセンサーと、室内温度センサーを組み合わせ警報をならすなど自動車メーカーは対応すべきあれほどバカな事故はないので)	●父	3▲			

7. 電車について					
液晶式の券売機の見えにくい	●父	7▲			
入学前でも体重があると自動改札機が一人前とカウントして閉まってしまう	●父	7▲			
エスカレータ、社内の連結器	●父	4▲			
階段等の段差ホームへ電車が入ってくる時の風圧によって電車側へ吸われないようにする	●父	6▲	4▲		
ホームでの移動・電車待ちの際	●父	5△	3▲		
ホームで箸やぐ、電車とホームの間に落ちそうになる	●父	4▲			
乗り降りのホームと電車の透き間があり、危険	●父	9▲	7▲	1▲	
人の波に押される危険があるので、手をつなぐようにしている	●父	7▲			
構内では手を放さない	●父	6▲	3△	1▲	
席が空いていないとつかまるところがない子供は車や電車に酔いやすい	●父	7▲			
つり革はやっと届くようになった端のほうに子供用の高さの手すりがついてもよい	●父	14△	9▲		
バスの乗降口(高さがあって、二人の子ども連れ、特に片方が乳幼児だとお母さんは大変そう)	●父	3▲			

回答者の表記:母親:○母 父親:●父
 子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
8. 歩行・自転車について					
駅などの階段では必ず手すりにつかまる(本人が)階段の歩幅が合わない	●父	7▲			
子供用の自転車のブレーキが唐突すぎる(車輪が小さいせい?)	●父	7▲			
自転車での飛び出し、子供は歩いているときに急に走り出す⇒飛び出す	●父	5△	3△		
信号のない交差点で一時停止をしない	●父	4▲			
歩行者、青信号の時間が短い	●父	4▲			
歩道が狭い(手をつないで並んで歩けない、すれ違えない)	●父	7▲			
歩道と車道の段差	●父	6▲	4▲		
マンションからの出入口は車の通りも多いので注意している	●父	3▲			
子供の急な飛び出し	●父	5△	3▲		
住宅地でも飛ばす車が多い	●父	3▲			
歩道がない	●父	6▲	3△	1▲	
歩道が狭い	●父	3▲			

9. 外出先の設備について					
トイレ					
大人用トイレしかない	○母	4△			
子ども用の補助便座がついている所が少ない	○母	4▲	1▲		
公衆トイレ子ども用(女子用)トイレがあればよい	○母	14▲	12▲	9△	5△
洋式のトイレでおしりがおちそうになる	○母	4▲	0△		
トイレに子ども用の便座がないため、携帯用の便座を使用していた	○母	6▲			
小便器の低いものが少ない	●父	4▲			
トイレの高さが合わない(大小便とも)小便器の自動水洗に感知しない	●父	7▲			
和式トイレがない時に大便をしたい時	○母	7▲			
和式トイレだと子どもには使いづらい	○母	4△			
和式トイレだと子どもには使いづらいつかまるところがない	○母	5△	3△		
和式の大便秘器だと使いにくい	●父	7▲			
和式のトイレに慣れていないので使いにくい	○母	4▲	0△		
和式用しかないトイレ	○母	4▲	2▲		
トイレで洋式がないと不便	○母	5△	1▲		
トイレの流し方が場所によって異なるため戸惑う	○母	8△	4△	3△	
トイレの水を流すところが重かったり押しにくかったりしてうまく流せない(とくに女兒)	○母	9▲	6▲	5△	

回答者の表記:母親:○母 父親:●父
 子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
大人だけでトイレに入る時子どもの居場所が無い	○母	7▲			
トイレ内に子どもを座らせておく椅子が少ない	○母	4▲	1▲		
おむつかえシートが少ない	○母	4▲	1▲		
このごろ増えてきたとはいえ、おむつ替えシートのついたトイレは、圧倒的に少ない男子トイレにもつけてほしい	○母	3▲			
男子トイレでオムツ変えができないファミレス、和式も同様	●父	4▲			
男性用・女性用トイレともベビーベットが欲しい	○母	4▲	2▲		
女性用トイレに男児用のトイレがある所が少ない	○母	9▲	7▲	1▲	
女性用トイレにも、男の子用トイレ(立ったままできるタイプの)を置いてほしい	○母	3▲			
トイレが汚い大人には気にならなくても子どもではズボンのすそが和式便器や床にひきずってしまう)	○母	4△			
トイレの床が汚い汚れていて不潔	○母	4△			
トイレが狭い	○母	5△	1▲		
トイレが狭い	○母	5△	3△		
トイレが狭い	○母	5▲	1△		
トイレが狭い	○母	6▲	4▲		
トイレが狭い	●父	6▲	4▲		
トイレが狭い	○母	4△			
トイレが狭い	○母	5△	3▲		
トイレで大便をする時、ズボンパンツをすべて脱ぐ為場所に困る	○母	4▲			
トイレの手洗い場	○母		3	2	
トイレの手洗いの位置が高い	○母	6▲			
トイレの手洗いが低い高さのところがない所	○母	8△	6▲		
トイレの洗面台には、子供用の高さのものがあるといい	○母	3▲			
トイレは随分良くなっていると思うが、洗面台が高くて、ボウルが遠い手を洗おうとすると、脇のあたりから濡れてしまう(使用后、洗面台の周りの水滴をちよっと拭きとる気使いが大人同士にもあれば、いいわけだが)	○母	13△	10△	8△	5△
洗面所で手を洗うと、洗面台の高さに胸や腹が来て濡れてしまう	●父	7▲			
設備・備品					
(レストラン)					
3~5才くらいだとレストランの子ども用の椅子では高くなりすぎ、大人用だと低い	○母	5▲	1△		
子ども用の椅子がないレストラン	○母	4▲	2▲		
机や椅子が使いにくい	○母	7▲	4▲		

回答者の表記:母親:○母 父親:●父
 子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
ラーメン屋の固定いすなどは、テーブルが遠すぎて食べ物に届かない	●父	14△	9▲		
レストランで子ども用の椅子がない所	○母	3△			
レストランのテーブルが高い	○母	3▲	1△		
レストランの取り皿が割れる素材の物しかないところ	○母	5△	1▲		
レストランの机の角	○母	5▲	1△		
レストランの机の角に頭をぶつけた	○母	3▲			
レストランの机の角に頭をぶつけた	○母	5△	3▲		
(自動販売機)					
自動販売機の取り出し口	○母	5△	3△		
自動販売機の取り出し口	○母	5▲	1△		
自動販売機のおつりの出てくる位置は、上の方につけてほしいむやみに手をつっこんだりしてしまうため	○母	3▲			
自動販売機の取り出し口から取り出しにくい	○母	5△	3▲		
(その他)					
映画館のイスが子供には低い	●父	7▲			
映画館の椅子が低い正座をすると高くなりすぎる	○母	10▲	3▲		
2階式の自転車置き場は、子どもには重くて乗せられない	○母	10▲	3▲		
手洗い水栓が高い	○母	4△			
飲料冷水機に口が届かない6才だと重くてだっこもタイヘン	○母	6▲			
子どもが疲れた時買物を続けることが出来ない	○母	7▲			
スーパーのショッピングカートに乗っていて身を乗り出すのがキケン	○母	4▲			
スーパーマーケットのカゴが大きくてぶつかる	○母		3	2	
狭いスーパーや通路に一杯荷物を置いているところ	○母	4▲	2▲		
デパートなど、少しの階の移動でも、ベビーカーを使っていると、エレベーターを使わざるを得ないでも、休日はとても混んでいるため、途中階から乗ろうと思っても、乗れないことがあったり、迷惑そうな顔をされたりしたので、せめて、車椅子・ベビーカー優先の機をけてくれてもいいのに、と思ったりもした	○母	3▲			
エスカレーター	●父	5△	3▲		
入り口の扉が重い	○母	7▲			
自動ドアが開かない急にしまる	○母	7▲			
自動ドアが結構危ない	○母	13▲	7△		
外食する際、禁煙席のない店禁煙席はあっても、ちゃんと分煙していない、あるいは喫煙席を通らないと禁煙席に行けないなど駅、病院の喫煙所なども同様	○母	13△	10△	8△	5△

回答者の表記:母親:○母 父親:●父
 子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表1:アンケート回答一覧・両親

回答	回答者	子ども			
10. その他					
PCのマウスが大きすぎる	○母	5△	3△		
遊びに夢中になったり興味あることが目の前に現れるとその他のことが全く頭の中からなくなってしまう(結果、壁にぶつかる・お絵描きをした紙ですべる、など)	○母	6▲	4▲		
上の子が下の子に対して、どこまでしたら危険とか加減が分からないところ	○母	5△	1▲		
かけるところが限定されているPHSは一人で外出用になったら持たせると安心だと思う	○母	4▲	1▲		
ゲームとしてふさわしくないTV・パソコンのゲームの内容	○母	7▲			
子どもが自転車に自分でよじ登るので倒れそうで不安	○母	5▲	1△		
子供連れで一番危険を感じるのは、大人の間人ですみんながもっとマナーを守り、思いやりがあれば、子供連れでも本来は安心して外出できるはず	●父	7▲			
自転車の前後に子どもを乗せていると、間隔が狭く乗り降りしにくい	○母	5▲	1△		
自転車は1人では使わせないようにしている車の行き来が多く、子どもは視界がせまくて判断も遅いため	○母	7▲			
手軽・便利なものではなく、体を使うおもちゃや環境・社会のことを考えるものを創って欲しい	○母	7▲			
ドアホンや電話、テレビビデオがリモコンが使いにくい多すぎて大変!	○母	7▲	4▲		
パソコンにもチャイルドロックが欲しい	○母	4▲	2▲		
パソコンの画面が高い	○母	7▲			
バリアフリーは大切な考え方だと思うが、何でもかんでも楽になればよいというものではない出来ることまで出来なくなる	●父	6▲	3△	1▲	
病院などで待ち時間が長いと子どもはあきたり騒いだりするので、他の場所にも呼び出してくれるシステムや待っている人数が一目で分かるものがあればよい	○母	4▲			
ファンヒーターのチャイルドロック機能が不十分	○母	4▲	2▲		

回答者の表記:母親:○母 父親:●父

子どもの表記:年齢(数字)+性別(▲:男児 △:女児)

表2: アンケート回答一覧: 保育士等

1/8

回答	公立 / 私立	保育園 ◇保	子 ども の 年 齢	子 ども の 人 数	大 人 の 人 数
		幼稚園 ◆幼			
1. 着衣、身支度					
着衣					
シャツのボタンをはずしてうでまくりをする	私	◆幼	5	30	1
ズボン(スカート)から下着がでていても気にしない	公	□学童	6~9	25	2
ズボンやパンツを1人ではけるようになったり、脱ごうとしたりしています	公	◇保	1	12	3
ズボンや上着から下着が出ていても気にしない	公	□学童	6~9	25	2
服(ズボン)の中にTシャツが入れられない	私	◆幼	3	18	1
片足をあげてパンツ・ズボンを履くことが難しい	公	◇保	2	17	3
洋服に関しては、上着はまだ1人で着る事も脱ぐ事も出来ませんが、ボタンは興味のある子は、とろうとしたりしている姿も見られます	公	◇保	1	12	3
オムツをしている子が多いので、なかなかうまくズボンをあげる事が出来ないのですが保育士が手伝ってあげるのですが、1人で出来た喜びを持たせられるように誉めたりしています	公	◇保	1	12	3
チャックができない	私	◆幼	4	29	1
チャックをしめられない	私	◆幼	3	18	1
コートジッパー	私	◆幼	4	29	1
服のボタンがとめられない	公	◇保	3	24	2
服の一番上のボタンや小さいボタンは難しい	公	◇保	2	17	3
洋服のうらがえしがなおせない	私	◆幼	3	18	1
脱いだ衣服を裏返し直すことが難しい	公	◇保	2	17	3
服のたたみ方、ジッパーのやり方、靴下・洋服の裏返しのなおし方	私	◆幼	3~5	170	10
右左の判断	私	◆幼	4	29	1
服の前後、裏表がわからない	公	◇保	3	24	2
靴下の裏表がわからない	私	◆幼	3	18	1
洋服をたためない	私	◆幼	4	29	1
むずかしいことも本人ができるようになるよう声をかけながらしています	私	◆幼	3~5	170	10
靴					
ちょうちょ結び	私	◆幼	4	29	1
ひもぐつのひもがきちんと結べない	公	□学童	6~9	25	2
靴のひもがきちんと結べない	公	□学童	6~9	25	2
靴の左右がわからない	私	◆幼	3	18	1
靴の左右が分からない	公	◇保	3	24	2
1人で出来るこの中には、靴の左右がわからない子も多いです	公	◇保	1	12	3
靴の左右や衣服の前後等の意識はあるものの完璧には出来ない	公	◇保	2	17	3

* 担当している子どもの年齢が2才以下の回答も、参考のため一緒に掲載した。

表2:アンケート回答一覧:保育士等

2/8

回答	公立 ／ 私立	保育園 ◇保	子 ど も の 年 齢	子 ど も の 人 数	大 人 の 人 数
		幼稚園 ◆幼			
靴に関しては、靴をはいたり脱いだり出来る子もいますが、ほとんど出来ない子が多いのでやってあげる事が多いです	公	◇保	1	12	3
今の服(靴)はデザイン重視の物が多いので、子どもが一人で着脱しにくくなってきていると思う(パンツなどバックプリントが多いが、子どもはプリントが前だと思っている)	公	◇保	5	19	2

2. 食事に関して					
(食べ方等に関して)					
こぼさずにきれいに食べられない	私	◆幼	4	29	1
こぼさずに上手に食べる	私	◆幼	3	18	1
こぼさず食べられない	私	◆幼	3~5	170	10
こぼした後のしまつ	私	◆幼	3	18	1
犬食いが多い	公	□学童	6~9	25	2
左手を使わない子が多い(犬食いの傾向がある)	公	□学童	6~9	25	2
食器を持たない、手を添えない	公	◇保	3	24	2
落としたものを拾おうとしない	私	◆幼	4	29	1
(箸・スプーン・フォークなどに関して)					
お箸がうまく使えない	私	◆幼	3	18	1
お箸で上手に食べる	私	◆幼	4	29	1
お箸の持ち方、使い方	私	◆幼	3~5	170	10
スプーンや箸が、正しく持てない	公	◇保	3	24	2
にぎり箸の子やおかしな箸の持ち方の子が多い	公	□学童	6~9	25	2
箸が使えない	私	◆幼	4	29	1
上手にできなくても箸を用意してもらっています					
食事に関しては、スプーンを使って食べていますが、まだうまく使えなかったりでこぼしが多かったですまた、器によって食べ物をうまくスプーンにのせられなかったりもします(食べ物の切り方が大きかったりすると特にのせられないので、保母が小さく切ったりしています)	公	◇保	1	12	3
正しく箸が持てない	公	□学童	6~9	25	2
中にはまだ十分にお箸を使いこなせない人がある	私	◆幼	5	30	1
箸を使う子の中で間違った持ち方を覚えてしまい、思うように箸が動かずにいる子もいる	公	◇保	5	19	2

* 担当している子どもの年齢が2才以下の回答も、参考のため一緒に掲載した。

表2: アンケート回答一覧: 保育士等

3/8

回答	公立 ／ 私立	保育園 ◇保	子 ど も の 年 齢	子 ど も の 人 数	大 人 の 人 数
		幼稚園 ◆幼			
(お弁当)					
お弁当箱のふたが閉められない	私	◆幼	3	18	1
お弁当包みの布をきちんと結ぶことができない	公	□学童	6~9	25	2
ちょうちよ結びができない(お弁当のつつみにひもをつけていただいています)	私	◆幼	4	29	1
弁当つつみを年少はボタン、年中はちょうちよ結び、年長はふるしきつつみと変えて、練習してできるようになってきています	私	◆幼	3~5	170	10
弁当包みが結べない	公	□学童	6~9	25	2
(その他)					
食事の前の手洗いで、まだ蛇口をひねる事が出来ない子もいますまた、水遊びになってしまう子もいるのでその都度、手の洗い方も教えていきます	公	◇保	1	12	3
ある程度まで、一人でできてます(箸は使っていません) 後は、個人差の細かい配慮のみです	公	◇保	2	17	3
食事後のフルーツではさくやいよかんのような厚皮の物の皮むきがやりにくそう	公	◇保	5	19	2
食後は、おしぼりで口や手をふくようにしています	公	◇保	1	12	3

3. 工作・中遊び					
(中遊び)					
おもちゃで人をたたかない、なげない	私	◆幼	3~5	170	10
ジグソーパズルのピースがなくなる	公	◇保	5	19	2
積木遊びなどは、凶器になってしまうこともあります	公	◇保	1	12	3
大型積み木から落ちる等のけが	私	◆幼	4	29	1
箱積木でのけがが多い	私	◆幼	5	30	1
巧技台や平均台が木製なのですぐにささくってしまう	公	◇保	5	19	2
巧技台遊びは、高いところに登るのが好きなので楽しんでやっていますが、落ちないように気をつけています	公	◇保	1	12	3
(工作)					
クレヨンを箱ごと落とす	私	◆幼	4	29	1
手先の遊びとして、シール貼りやクレヨン画をしています但しクレヨンは、口の中に入れてしまう子もいます	公	◇保	1	12	3
セロテープカッターがうまく使えず下に落としてしまう	私	◆幼	3	18	1
のりのつけ方、のりの量が多すぎないか	私	◆幼	3~5	170	10
のりをたっぷり使うので減りがはやい(セロテープも)	私	◆幼	4	29	1
のりを使いたがらずセロテープを使う	公	□学童	6~9	25	2
のりを使って手を汚すのがいやで、すぐセロテープでとめたがる	公	□学童	6~9	25	2

* 担当している子どもの年齢が2才以下の回答も、参考のため一緒に掲載した。

表2:アンケート回答一覧:保育士等

4/8

回答	公立 ／ 私立	保育園 ◇保	子 ど も の 年 齢	子 ど も の 人 数	1 ク ラ ス の 人 数
		幼稚園 ◆幼			
はさみが正しく使えない	公	□学童	6~9	25	2
はさみの使い方(人の顔にむけてはいけない)	私	◆幼	3	18	1
はさみは、椅子に座ってから渡す	公	◇保	2	17	3
はさみを使う時は大人が付くようにしている	公	◇保	5	19	2
はさみを持ったまま歩きまわらないように気をつける	私	◆幼	4	29	1
はさみを正しく使えない	公	□学童	6~9	25	2
刃物を持ったままで移動する	公	□学童	6~9	25	2
刃物を持って移動する大きなジェスチャーで話をする	公	□学童	6~9	25	2
かなづち、釘を扱うときの道具の置き場に気をつけ、目が届くようにする	私	◆幼	3~5	170	10
はさみ、ペン、のりなど使ったものを片づけない	私	◆幼	4	29	1
ペンのふたをしめわすれる	私	◆幼	5	30	1
マジックのふたをあけっぱなしにする	私	◆幼	3	18	1
マジックのふたをきちんとしめない	私	◆幼	3	18	1
使ったもの(はさみ、のり、マジック)を使い終わったらもとの場所にもどさないことが多い	私	◆幼	3	18	1
使ったものは片付けてから、次ぎの行動をする	公	◇保	2	17	3
(ルール等)					
ホールでボールあそびをするときは、他のあそびは設定しない	公	◇保	2	17	3
危ないことでも大人がやってみせて、扱い方を説明(年齢に応じて)しています	私	◆幼	3~5	170	10
危険なことがないように目を配る	私	◆幼	3	18	1
使用する前、使用中に、正しい使い方・あそび方等、知らせる	公	◇保	3	24	2
部屋では危険なので、走らない	公	◇保	2	17	3
部屋の中ではボールをけらないように声をかけています	私	◆幼	3~5	170	10
廊下を走っての正面衝突	私	◆幼	4	29	1

4. 外遊び・プール

(固定遊具での遊び)

公園では固定遊具1つに大人が1人付くようにしている	公	◇保	5	19	2
アスレチックでは手をはなさない	私	◆幼	3	18	1
ジャングルジム、たいこばしの遊び方(手を離さない)	私	◆幼	3	18	1
ものを持って高いところ(ジャングルジムなど)に登らない	私	◆幼	4	29	1
高いところ(ジャングルジムなど)から落ちる	私	◆幼	4	29	1
てつぼうで手をはなさないか	私	◆幼	3~5	170	10

* 担当している子どもの年齢が2才以下の回答も、参考のため一緒に掲載した。

表2: アンケート回答一覧: 保育士等

回答	公立 ／ 私立	保育園 ◇保	子 ど も の 年 齢	子 ど も の 人 数	大 人 の 人 数
		幼稚園 ◆幼			
砂を投げない	私	◆幼	4	29	1
砂を友達にかけない	私	◆幼	3	18	1
砂場で砂を人にかけてり、人が作ったものをこわさないようにする	私	◆幼	3~5	170	10
砂場で使う水は決められたところでくむ	私	◆幼	3	18	1
砂場での水の使い方	私	◆幼	5	30	1
砂場遊びの時に洋服のそでをきちんとまくる	私	◆幼	3	18	1
砂遊びは、口に入れないように、見ています	公	◇保	1	12	3
すべり台で下に友達がいるかいがないか	私	◆幼	3~5	170	10
すべり台の上では人を押さない	私	◆幼	3~5	170	10
すべり台一逆からすべったり、混み合うと押したりする子も出ているので、要注意	公	◇保	3	24	2
すべり台では、高いところから落ちないように気をつけます	公	◇保	1	12	3
ブランコの出入りが危険	私	◆幼	5	30	1
ブランコの出入りが危険					
ブランコの前後を横切らない	私	◆幼	3~5	170	10
ブランコは、やっている子の中に入らないように気をつけます	公	◇保	1	12	3
動いているブランコの近くには寄らない	私	◆幼	4	29	1
友達がブランコに乗っていたらさくにはいらない	私	◆幼	3	18	1
(ルール等)					
遊具の使い方のルールを守ること	公	□学童	6~9	25	2
サッカーをするときに周りに注意をするように	私	◆幼	5	30	1
危険な場所に行かないことや、遊具の正しい使い方をするよう注意している	公	□学童	6~9	25	2
公園やプールの前にはそこでのルールや使い方を必ず知らせるようにしている	公	◇保	5	19	2
行っては行けない所、危険な場所、遊びのルールを守ること	公	□学童	6~9	25	2
自転車の使い方や、交代で使うこと	私	◆幼	5	30	1
道を歩く時は端を友だちと2組で手を繋ぎ、前の人と間をあげずに進む	公	◇保	2	17	3
棒を持って走り回るので注意している	公	□学童	6~9	25	2
木の枝を持って走らない	私	◆幼	3~5	170	10
外遊びでは、散歩に行ったりして楽しんでます1人で、自由に歩いたり、走ったりするのが好きなので、車などの危険な場所に出ないように気をつけたり、見えない場所に行かないよう気をつけています細かく人数をチェックしています	公	◇保	1	12	3

* 担当している子どもの年齢が2才以下の回答も、参考のため一緒に掲載した。

表2: アンケート回答一覧: 保育士等

6/8

回答	公立 / 私立	保育園 ◇保	子 ども の 年 齢	子 ども の ク ラ ス の 人 数	大 人 の ク ラ ス の 人 数
		幼稚園 ◆幼			
(身支度等)					
靴はかかとを踏まず、きちんと履かせる	公	◇保	3	24	2
靴はかかとを踏ませずきちんとはかせる					
外遊びでは帽子をかぶって遊ぶ	私	◆幼	3~5	170	10
散歩時にはクラス帽子をかぶる	公	◇保	2	17	3
帽子をかぶるように	私	◆幼	5	30	1
靴の左右等正しく履けているか見直す	公	◇保	2	17	3
(プール)					
プールサイドは走らない	公	◇保	2	17	3
プールでは走らない(地面がぬれていてすべるので)	私	◆幼	3~5	170	10
プール遊びでは、その日の体温、体調を見て入れていきます	公	◇保	1	12	3
子どもがおぼれないように常に見ています水に入り過ぎて、体が冷たくなるので様子を見ながら、休憩したりしています	公	◇保	1	12	3
水に入る前に体を良く動かし、お尻を洗ってから入れますそして、プールサイドは滑りやすいのでシートをひいています	公	◇保	1	12	3
飛び込みをせず静かに入る	公	◇保	2	17	3

5. 使いにくい園内設備

トイレ					
トイレの扉がいきおいよく閉まってしまう	私	◆幼	3	18	1
子供用の洋式便器が少ない(和式になかなか慣れない)	公	◇保	5	19	2
女子トイレが便器が小さい、使いづらい	公	□学童	6~9	25	2
女子用トイレの便器が小さい	公	□学童	6~9	25	2
男児便器の形が悪く尿が引っかかり易い	公	◇保	2	17	3
洗面台					
手荒い場所が1カ所では不足する	公	□学童	6~9	25	2
水道の蛇口をひねるといきおいよく水が出てしまう	私	◆幼	3	18	1
水道の蛇口は入園前にはできないけれど、すぐに慣れます					
洗い場所が1カ所なので不便	公	□学童	6~9	25	2
洗面所が暗い	公	□学童	6~9	25	2
足洗いの水道が近くにないので、バケツにみずをくんで運んでいる	公	◇保	1	12	3
保育室に手洗い場がない	公	◇保	3	24	2

* 担当している子どもの年齢が2才以下の回答も、参考のため一緒に掲載した。

表2: アンケート回答一覧: 保育士等

回答	公立 ／ 私立	保育園	子 ど も の 年 齢	子 ど も の 人 数	大 人 の 人 数
		◇保 幼 稚 園 ◆幼 学 童 保 育 □			
その他					
プールのシャワーにお湯が付いていない	公	◇保	2	17	3
そうじ後(水ぶきの後)、走って転倒しやすい	公	◇保	3	24	2
タイルが滑りやすい	公	◇保	3	24	2
電気は、手のとどくところにあるので、今工事申請中です	公	◇保	1	12	3
電気は子どもの手の届かない(背伸びをすれば届くけど)高さにあつて、つけたりけしたりは先生がします	私	◆幼	4	29	1
園庭の水はけ悪く、雨天の後ひどい水みずたまりになり遊べない	公	◇保	5	19	2
角にガードをしたり、やすりをかけ危険を回避する	公	◇保	2	17	3
特になし、コンクリートの階段や重い扉などは個人が生活していくうえで乗り越えられる様そのままになっていますコンセントにはカバーをつけています	私	◆幼	3~5	170	10

6. その他					
しゃがむことができず、すぐどこにでも腰をおろしてすわり込んでしまう(若者と同一傾向)	公	□学童	6~9	25	2
しゃがむことができなくて、お尻をべったり下ろしてしまうその為に靴をはくときに座り込んでしまう	公	□学童	6~9	25	2
駅で電車とホームの間がかなり開いている所があり、子どもと乗る時は少々怖い気がする	公	◇保	5	19	2
子どもの出来ないことはくりかえし保育者を含めた大人が伝えていくことで、いつか必ず出来るようになるその為にも一人一人の子ともに合った伝え方で、子どもが出来たときに自信が持てるように、次への意欲につながり成長できるように見守っていかなくてはならない	私	◆幼	3	18	1

* 担当している子どもの年齢が2才以下の回答も、参考のため一緒に掲載した。

表2:アンケート回答一覧:保育士等

回答	公立 ／ 私立	保育園 ◇保	子 ど も の 年 齢	子 ど も の 人 数 の	大 人 の 人 数 の
		幼稚園 ◆幼			
7. わかりやすい工夫					
7クラスあるので各クラス色分けされていますおもちゃにもクラス名がかいてあり、どこに落としても誰かが届けてくれます	私	◆幼	4	29	1
クラスカラーがあり、おもちゃ、机、イス等にクラス名とともに付いている	私	◆幼	3~5	170	10
クラスの色分け	私	◆幼	3~5	170	10
各クラスごとにカラーがあり、字の読めない年少でも色でどこのクラスの落とし物かわかるようにしてある	私	◆幼	3	18	1
いすがまっすぐ並べられるようにビニールテープで印をつけている	私	◆幼	4	29	1
お片づけの時間がわかるように手作り時計を利用している	私	◆幼	4	29	1
危険な所や入ってはいけない所などラインを引いて知らせることもある	公	◇保	5	19	2
牛乳パックなどを使い、ままごとなどのおもちゃを自分達で片づけられるよう環境整備をしている	公	◇保	2	17	3
大型積み木の片づけるために「ここの中へ～」の囲いをビニールテープでつけている	私	◆幼	4	29	1
子どもたちが共同で使う物は小分けにしてビニールテープなどで色分けしている	公	◇保	5	19	2
はさみ、自由画帳、クレヨンは自分のひきだしにしまい、各自で管理しています	私	◆幼	4	29	1
ロッカーへの記名	私	◆幼	5	30	1
個人のものにマークがついている	私	◆幼	3	18	1
個人のものやロッカーを区別するためにマークを利用している	公	◇保	3	24	2
個人のロッカーやお手拭き、靴箱など・・・子供たちにわかりやすいように1人1人に動物のマークをつけています	公	◇保	1	12	3
子どもにわかりやすい身近なマーク(動物、植物、食べ物)を使う	私	◆幼	3	18	1
子ども一人一人帽子かけ、道具棚にマークをつける	私	◆幼	3~5	170	10
自分の物がわかるように個人マークがある(EXロッカー、お手拭きタオル掛け、着替えのカゴ等)	公	◇保	2	17	3
年少は名前の横に個人のマーク(花、動物)をつけている	私	◆幼	3~5	170	10
年少時はマークをつけていたが、年中になったら全てひらがなで下の名前のみを見て区別します(たなもフックもはさみもクレヨンも)	私	◆幼	4	29	1
年長では、はさみ、えんぴつは個人のものとし、ひきだしへ入れ自分で管理するようにしている	私	◆幼	5	30	1

* 担当している子どもの年齢が2才以下の回答も、参考のため一緒に掲載した。

資料4:子どもの不便さと特性の関連

表3・4は、アンケートの回答の個々の事例と、子どもの特性との関連を一覧表にしたものである。表3が両親、表4が保育士等からの回答を基にしている。
 8つの特性の内容は、本文9ページに記載した。なお、どの特性とも特に関連がなさそうな事例や、アンケートの回答が簡潔なため判断できなねるものは「その他」とした。
 また、「大人にとって」という項目は、子どもと一緒に行動する大人にとっての不便さを表す。子どもの面倒をみる時に不便が多い、という場合と自分が子どもによって迷惑を被る、という場合の2通りがある。

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
階段										
足を滑らせて階段から落ちる	○			○						
狭くて急で手すりのない階段	○			○		○				
2階の階段の踊り場で遊んで落ちそうになる						○				
階段の降り口	○			○		○				
2階の階段の電気のスイッチがちょうど上がったところの上にある	○									
段差										
玄関の土間からの上がり口のの高さが高すぎる	○									
他のことに気を取られて、部屋と部屋のちょっとした段差につまづく					○	○				
部屋の段差で転んでしまう					○					
和室との段差					○					
ドア・窓										
ドアの取っ手が高いところになって届きにくい	○									
オーソドックスな丸いドアノブは、握れず、回せずで、1人であけられない(ハンドルタイプなら自分でできる)						○				
玄関のチェーンをかけたたりはずしたりできない						○				
玄関のドアが重い		○								
サッシの戸が重い、開けられない		○								
玄関のドアが重く、勢いで閉まった時に指をはさむ		○								
ドアの蝶番側と壁との隙間に指をはさむ							○	○		
ドアを閉めた時、足の指をはさんだ							○			
引き戸の隙間に手をはさむ	○					○				

表3:子どもの不便さと特性の関連・両親

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
回答										
ドアのノブに洋服などが引っかかる				○						
窓のかぎがあげやすい				○			○	○		
出窓のところに乗って鍵をあけてしまい落下しそうになった		○		○			○			
窓のところに上ってしまう				○			○	○		
2階の窓から身を乗り出せるので、転落の危険性がある	○			○			○			
玄関を出たところのステップでこぼすドアが開くのに必要なスペースに対して、ステップが狭い				○						
中からしかロックできないドアで閉じ込められる(赤ちゃんの頃)							○	○		
風呂場										
お風呂の浴槽に入れない(高い深い)	○									
お風呂の段差	○			○						
浴槽内で滑っておぼれそうになった				○						
お風呂の水道の蛇口に頭をぶつけた	○					○				
風呂の給湯口が熱い								○		
お風呂の湯せんの水道管が、熱くなり火傷しやすい						○		○		
シャワーの温度調節					○			○		
ソーラー給湯とボイラー給湯の切り替え予測がつかないので、急にお湯が水に変わるときの対応ができない				○				○		
お風呂の温度調節をいつの間にか高い方にしている熱湯が出ることもある							○	○		
お風呂のサーモ付水栓金具(ゆるくてお湯が出しっぱなしになることがある)		○				○				
洗面台										
洗面台が高い(台を置いても蛇口をひねる時には届かない)	○									
水道の栓が固いと回せない		○			○					
水を出す時、調節がうまくいかず出しすぎてびしょびしょになる		○			○					
トイレ										
トイレの座面が高い	○									
トイレおしっこがとびやすくパンツがぬれる				○						
トイレの便座が大きすぎる	○									
トイレが狭い(大人と一緒に入れない)								○	○	
トイレが狭くてよじ登るのに苦労している	○									
トイレの便座に座る時手をかける場所があると便利	○			○						
トイレの手洗いは届かないし、小さなスペースでは洗にくい	○			○						
トイレはセンサーで照明が反応するようになっているが、小さい子だと反応しない	○									

表3: 子どもの不便さと特性の関連・両親

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
台所										
ガス台の位置に子どもの顔がくる	○									
グリルが低い位置にあって子どもにも簡単にあけられてしまう							○	○		
台所の火の回りを注意						○	○	○		
キッチンの流しの下の棚の扉についている包丁置き						○		○		
食器棚やシンクに届かないので、しっかりした台が欲しい	○									
机椅子										
子ども用椅子が使いにくい(子どもが自分で座るには、机から離すか、隣の椅子に乗ってからでないと高く座れない机から離れて座ってしまうと、自分では前に戻せない)	○			○						
子ども用の椅子が不安定	○			○						
食事時のテーブルはものをこぼしやすい(イスの高さのせい?)	○				○					
食卓と椅子の高さがあっていない	○									
テーブルが高い特にこたつ台	○									
椅子が重い		○								
キャスターのついた椅子折り畳みの椅子が危険				○		○				
勉強机・椅子が重く移動が大変(シンプルで良いから使いやすく軽くして欲しい)		○								
勉強机の一番上の棚に手が届かない	○									
カウンターテーブル・ピアノに頭をぶつけやすい	○					○				
電気機器										
電灯スイッチに手が届かない										
夜電気のスイッチが分かり難い	○							○		
インターホンの位置が高いので、届かない	○									
電気製品のコードにつまずく				○		○				
洗濯機のボタンを押したり、中が回っているところ、水が出てくるところなどをみたくらしく、椅子を持ってきて中をのぞきこんだり、ボタンをいろいろに押している							○			
ファンヒーターのチャイルドロック機能が不十分							○	○		
火のついたストーブのそばでふざける							○	○		
ホットプレートでやけど				○		○		○		
冷蔵庫の扉ポケットに沢山入れすぎると自然にしまっ指をはさむ						○				
冷蔵庫の扉を勢いよく開けた時、反動でかえってくる扉にぶつかる				○		○				

表3:子どもの不便さと特性の関連・両親

	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
回答										
炊飯中の湯気の出ている炊飯器に興味があって、手をのぼそうしたり、ボタンを押すのが楽しいらしく、保温中の炊飯器を消してしまう							○	○		
冷凍庫が一番上にあるタイプの冷蔵庫は、氷を一人ではとれない	○									
電話の受話器が重くて大きいのでうまく支えられない		○								
ビデオの出し入れで手をはさむ					○					
ビデオの使い方が複雑でわかりにくい								○		
ドアホンや電話、テレビビデオがリモコンが使いにくい多すぎて大変!								○		
PCのマウスが大きすぎる	○									
パソコンにもチャイルドロックが欲しい							○	○		○
パソコンの画面が高い	○									
着衣										
Tシャツで首周りが小さく着脱時に耳にひっかかる				○						
洋服は、首が抜けにくいボタンが難しい				○	○					
赤い羽根等の針先					○					
安全ピンがうまくとめられない					○					
靴下の左右の区別								○		
くつひもがうまく結べない					○					
ハンガーに洋服が上手くかけられない					○					
食事										
おはし、ナイフとフォークをうまく使えない					○					
おわんが深くてひっくりかえす					○	○				
必ずこぼす(洋服のそでを食器にひっかけるたべかすを沢山落とす)					○	○				
茶碗・コップ等食器が滑りやすい					○					
茶碗についたごはん粒が最後集められない					○					
テーブル上で横にあるものを肘などでひっくりかえす					○	○				
ハンバーグなど一口大に切れない					○					
氷のサイズを小さくして、と言われる	○				○					
熱いものが食べられない									○	
飴玉・コンニャクゼリーをのどに詰まらせた子がいた		○	○							
魚の骨がとれない					○					
たまごを割る					○					

表3: 子どもの不便さと特性の関連・両親

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
食事包装										
お菓子の袋をギザギザのところからあける時横からこぼれる					○					
スライスチーズのラップがあけられない					○					
ゼリー、ヨーグルトのパックがあけられない					○					
ソーセージがあけられない					○					
納豆のたれが上手くあけられないあける時に中身が飛び散る					○					
紙パックについているストローが取れない					○					
缶ジュース・ペットボトルのふたがあかない		○			○					
ビンの栓があけられない					○					
ストローなど、ビニール、紙から出せない					○					
ストローなど穴にさせない					○					
ストローをかんでしまうので、すぐ使えなくなり、中身が残ってしまう							○	○		
パックにストローをさしたものは、子どもが持つとストローから飲み物が吹き出してしまう					○			○		
1リットルの牛乳パックがあけられない					○					
牛乳パック(一度あけてある)があげにくい					○					
牛乳パックが注ぎにくいようによくこぼす					○					
しょうゆ、ソース、牛乳などうまく注げない					○					
ドレッシングの量の加減ができず、どぼっと出てしまう					○					
醤油などちょっとだけ小皿に注ぐこと					○					
誤飲										
お菓子の防腐剤を食べてしまった								○		
クレヨンやねんど(バナナやチョコレートなど香りつきのもの)を口に入れてしまう								○		
誤飲食べ物のカタチをしたおもちゃ・薬等								○		
小さなおもちゃビービー弾を子どもが鼻の中に入れたことがある								○		
薬、細かいおもちゃなど間違っって飲み込む								○		
その他・家の中										
遊びに夢中になったり興味あることが目の前に現れるとその他のことが全く頭の中からなくなってしまう(結果、壁にぶつかる・お絵描きをした紙ですべる、など)						○				
子どもの顔の高さの家具・テーブルの角	○					○				
子ども用のスリッパが脱げやすい				○						
自転車を裏庭から玄関へ(部屋を通過して)持ってこれない		○		○						

表3:子どもの不便さと特性の関連・両親

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
食器棚の棚が高く手が届かない	○									
脱衣所がすべりやすい				○						
タンスの引き出しが重くて開けられない		○								
お片づけ用の引き出しを下の子がいたずらする								○		
ピアノの周り(ピアノのふたが倒れやすい)						○				
ビデオ・テレビ台の扉がガラスそのものでキケン枠等つけて欲しい						○				
仏壇の灯でやけど						○		○		
フローリングの床にワックスをかけると滑って転ぶ				○	○					
床に落ちた新聞紙、うちわなどで滑って転ぶ				○	○					
部屋で子どもの自由になる場所が無い(落書き・貼り付け・汚してもいい床、壁)										○
ベランダの室外機に乗ってさくから落ちそうになった	○			○			○			
おもちゃで叩きあって、けがをする				○				○		
先のとがったおもちゃを踏んで痛い思いをした						○				
サランラップ								○		
水銀体温計								○		
はさみ					○					
歯ブラシを口の中に入れてそのまま走ったり飛んだりして転んで口の中を切ったりする						○		○		
針					○	○				
まっち						○				
目薬を一人でさすのは難しい				○	○					
ものさし						○				
ランドセルが重い		○								
鉛筆(もっと太い方がいい)					○					
洗剤、包丁などの収納場所は、従来低いところにあるので、気をつけなければいけない								○		
歩行・道路										
歩道が狭い(手をつないで並んで歩けない、すれ違えない)				○	○					
歩道が狭くトラックなどが通るとあおられる	○									
歩道のないところが多い	○					○				
歩道と車道の段差				○	○					
マンションからの出入口は車の通りも多いので注意している						○				
違法駐車車で、むこう側が見えない、ゆえに道を渡るときあぶない	○					○				
住宅地でも飛ばす車が多い				○	○					

表3:子どもの不便さと特性の関連・両親

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
歩道を歩いている、電柱や看板、道路標識などの支柱に阻まれ、歩けなくなったり、足下を見たり、傘を差しているときなど、ぶつかりそうになっている				○		○				
街灯が少なくて真っ暗なところがある									○	
花壇や植木の枝が飛び出していて、目にささりそうになる	○					○				
道路が悪いので水溜まりが多い									○	
歩行者用の信号が青でも右左折車が勢いよくまがってくる						○				
道路、駐車場など陰からの飛び出し						○	○	○		
脇道、小道からヒュッと出てくる人や自転車には、とても対応できないカーブミラーなども見ることはできないし				○		○				
歩行者、青信号の時間が短い				○		○				
公園が道の両側にあるため、移動が危険						○				
信号のない大きな道路の横断						○		○		
信号のない交差点で一時停止をしない						○		○		
クルマから背の低い子どもは見えない	○									○
子供自身、道を渡るのか渡らないのか、止まるのか止まらないのか、よけるのか、立ち止まるのか、の判断が遅い						○		○		
大きい荷物を持っている人かばんが、顔、頭、などにぶつかり、ポンとあたってよろけたこともある(自分がどれくらいのスペースをとっているのか、自覚してほしいものだ)	○			○						
傘をさして歩くのが難しい傘も重い	○			○						
駐車場内、及び駐車に通じる外階段が雨に濡れるとすべる				○						
雨の日滑りやすい一般道路、駅の中など				○						
カッパの帽子が目の部分を覆ってしまうので、前が良く見えない	○									
革靴がすべる				○						
タバコを持っている人がタバコを持ったまま手を下げた時、幼児の顔のあたりに火がくるので非常に危険	○									
自転車										
子供用の自転車のブレーキが唐突すぎる(車輪が小さいせい?)	○									
子ども用自転車にはライトがないものが多く危険									○	
子供の自転車の暴走						○	○	○		
自転車は1人では使わせないようにしている車の行き来が多く、子どもは視界がせまくて判断も遅いため						○		○		
2階式の自転車置き場は、子どもには重くて乗せられない		○								
自転車の前後に子どもを乗せていると、間隔が狭く乗り降りしにくい										○
子どもが自転車に自分でよじ登るので倒れそうで不安	○			○						

表3:子どもの不便さと特性の関連・両親

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
電車・駅設備										
駅など階段が多すぎる(ベビーカーを持っていると大変)(エスカレーター・エレベータ・せめてスロープがもっと欲しい)										○
駅などの階段では必ず手すりにつかまる(本人が)階段の歩幅が合わない	○									
駅の階段・エスカレーターは歩きにくい	○									
液晶式の券売機の角度が見えにくい	○									
階段等の段差ホームへ電車が入ってくる時の風圧によって電車側へ吸われないようにする	○			○						
ホームでの移動・電車待ちの際				○						
ホームではしゃぐ							○			
人の波に押される危険があるので、手をつなぐようにしている	○									
構内では手を放さない	○					○				
席が空いていないとつかまるところがない子供は車や電車に酔いやすい				○						
つり革はやっと届くようになった端のほうに子供用の高さの手すりがついてもよい	○									
電車とホームとの間が広い隙間がキケン	○			○						
電車やバスに乗る時、子どもをベビーカーに乗せたまま乗れない										○
長い電車区間で子どもがあきてじっとしていることができない							○			
入学前でも体重があると自動改札機が一人前とカウントして閉まってしまう										○
バスの乗り降りのステップ差が大きく、手をひかないと歩けない	○									
バスの乗降口(高さがあって、二人の子ども連れ、特に片方が乳幼児だとお母さんは大変そう)	○									○
バスは座っても不安定(一人用に座ると奥まで座っても左右に揺れる前座席の手すりには届かないひざに抱いて座るには狭い)	○									
自動車										
車のドアの開閉で指をはさむ						○				
1ボックスカーのスライドドアで手をはさむ										○
車のドアをロックしてしまっ、閉じ込められる								○		
シートベルトが首にかかる	○						○			
助手席に座るときにシフトノブを足で蹴ることがある				○						
助手席のもの入れを開けたがる(コップ置きになっている)のでブレーキ時危険							○			
チャイルドシートが面倒										○

表3: 子どもの不便さと特性の関連・両親

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
おしりの下にしくタイプのチャイルドシートは、子どもが寝てしまった時に困るベルトをはずすわけにもいかず、リクライニングを倒しても不自然な姿勢になってしまう										○
駐車場で隣の車にドアをぶつけそうで心配						○				
バイクの後席に乗ると前が見えないので横から顔を出す							○			
すべての乗り物に子ども用シートがない特に飛行機だとスクリーンが見えない	○									
トイレ(外出先)										
子ども用の補助便座がついている所が少ない	○									
トイレに子ども用の便座がないため、携帯用の便座を使用していた	○									○
洋式のトイレでおしりがおちそうになる	○									
小便器の低いものが少ない	○									
女性用トイレに男児用のトイレがある所が少ない	○									○
和式トイレだと子どもには使いづらいつかまるところがない	○		○							
和式のトイレに慣れていないので使いにくい								○		
トイレの流し方が場所によって異なるため戸惑う								○		
トイレの水を流すところが重かったり押しにくかったりしてうまく流せない(とくに女兒)		○								
トイレが汚い大人には気にならなくても子どもではズボンのすそが和式便器や床にひきずってしまう)				○						
トイレで大便をする時、ズボンパンツをすべて脱ぐ為場所に困る				○						
大人だけでトイレに入る時子どもの居場所が無い										○
おむつかえシートが少ない										○
このごろ増えてきたとはいえ、おむつ替えシートのついたトイレは、圧倒的に少ない男子トイレにもつけてほしい										○
洗面所で手を洗うと、洗面台の高さに胸や腹が来て濡れてしまう	○									
トイレは随分良くなっていると思うが、洗面台が高くて、ボウルが遠い手を洗おうとすると、脇のあたりから濡れてしまう	○									
設備										
入り口の扉が重い		○								
エレベーターのドアにはさまれる		○		○						
自動ドアが開かない急に止まる	○									
狭いスーパーや通路に一杯荷物を置いているところ									○	
ベビーカーではエレベーターしか使えないので、エレベーターが混んでいると不便										○

表3:子どもの不便さと特性の関連・両親

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
3~5才くらいだとレストランの子ども用の椅子では高くなりすぎ、大人用だと低い	○									
ラーメン屋の固定いすなどは、テーブルが遠すぎて食べ物に届かない	○									
レストランの机の角	○									
レストランのテーブルが高い	○									
レストランの取り皿が割れる素材の物しかないところ					○	○				
飲料冷水機に口が届かない6才だと重くてだっこもタイヘン	○									
映画館の椅子が低い正座をすると高くなりすぎる	○									
スーパーのショッピングカートに乗っていて身を乗り出すのがキケン							○			
スーパーマーケットのカゴが大きくてぶつかる				○						
自動販売機のおつりの出てくる位置は、上の方につけてほしいむやみに手をつっこんだりしてしまうため							○			
自動販売機の取り出し口から取り出しにくい					○					
子どもが疲れた時買物を続けることが出来ない			○							
その他										
上の子が下の子に対して、どこまでしたら危険とか加減が分からないところ								○		
かけるところが限定されているPHSIは一人で外出用になったら持たせると安心だと思う										
ゲームとしてふさわしくないTV・パソコンのゲームの内容										
子供連れで一番危険を感じるのは、大人の間ですみんながもっとマナーを守り、思いやりがあれば、子供連れでも本来は安心して外出できるはず										
手軽・便利なものではなく、体を使うおもちゃや環境・社会のことを考えるものを創って欲しい										
バリアフリーは大切な考え方だと思うが、何でもかんでも楽になればよいというものではない出来ることまで出来なくなる										
病院などで待ち時間が長いと子どもはあきたり騒いだりするので、他の場所にも呼び出してくれるシステムや待っている人数が一目で分かるものがあればよい										

表4:子どもの不便さと特性の関連・保育士等

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
洗面台										
手荒い場所が1カ所では不足する				○		○	○		○	
水道の蛇口をひねるといきおいよく水が出てしまう					○					
洗い場所が1カ所なので不便									○	○
保育室に手洗い場がない									○	○
足洗いの水道が近くにないので、バケツに水をくんで運んでいる									○	
洗面所が暗い									○	
食事の前の手洗いが水遊びになってしまう							○	○		
プールのシャワーにお湯が付いていない									○	
トイレ										
トイレの扉がいきおいよく閉まってしまう				○		○				
子供用の洋式便器が少ない(和式になかなか慣れない)								○		
女子トイレが便器が小さい、使いづらい	○			○						
男児便器の形が悪く尿が引っかけやすい				○						
その他園内設備										
電気は子どもの手の届かない(背伸びをすれば届くけど)高さにあって、つけたりけしたりは先生がします							○	○		
そうじ後(水ぶきの後)、走って転倒しやすい				○		○				
タイルが滑りやすい				○		○				
遊具										
アスレチックでは手をはなさない				○		○				
ジャングルジム、たいこばしの遊び方(手を離さない)				○		○				
すべり台で下に友達がいるかいないか						○		○		
すべり台の上では人を押さない						○	○	○		
すべり台-逆からすべったり、混み合うと押したりする子も出ているので、要注意							○	○		
てつぼうで手をはなさないか				○		○				
ブランコの前後を横切らない						○		○		
ものを持って高いところ(ジャングルジムなど)に登らない				○		○		○		
公園では固定遊具1つに大人が1人付くようにしている				○		○				
高いところ(ジャングルジムなど)から落ちる				○		○				
おもちゃ										
おもちゃで人をたたかない、なげない								○		
ジグソーパズルのピースがなくなる						○				
巧技台や平均台が木製なのですぐにささくってしまう						○				
巧技台遊びは、高いところに登るのが好きなので楽しんでやっていますが、落ちないように気を付けています				○		○				
積木遊びなどは、凶器になってしまうこともあります								○		
大型積み木から落ちるetcのけが				○		○				

表4:子どもの不便さと特性の関連・保育士等

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
工作用具										
使ったもの(はさみ、のり、マジック)を使い終わったらもとの場所にもどさないことが多い						○	○			
手先の遊びとして、シール貼りやクレヨン画をしています但しクレヨンは、口の中に入れてしまう子もいます						○		○		
かなづち、釘を扱うときの道具の置き場に気をつけ、目が届くようにする						○		○		
クレヨンを箱ごと落とす						○				
セロテープカッターがうまく使えず下に落としてしまう					○					
のりのつけ方、のりの量が多すぎないか					○			○		
のりを使って手を汚すのがいやで、すぐセロテープでとめたがる									○	
はさみ、ペン、のりなど使ったものを片づけない						○	○			
はさみの使い方(人の顔にむけてはいけない)						○		○		
ハサミは、椅子に座ってから渡す						○				
はさみを持ったまま歩きまわらないように気をつける						○				
ペンのふたをしめわすれる						○				
刃物を持って移動する大きなジェスチャーで話をする						○				
遊びのルール										
サッカーをするときに周りに注意をするように				○		○				
外遊びでは、散歩に行ったりして楽しんでいます1人で、自由に歩いたり、走ったりするのが好きなので、車などの危険な場所に出ないように気をつけたり、見えない場所に行かないよう気をつけています細かく人数をチェックしています						○	○			
外遊びでは帽子をかぶって遊ぶ		○								
危険な場所に行かないことや、遊具の正しい使い方をするよう注意している						○		○		
砂を投げない							○	○		
砂場での水の使い方							○	○		
砂場で砂を人にかけたり、人が作ったものをこわさないようにする							○	○		
砂場で使う水は決められたところでくむ							○	○		
砂場遊びの時に洋服のそでをきちんとまくる				○		○				
砂遊びは、口に入れないように、見えています							○	○		
自転車の使い方や、交代で使うこと								○		
道を歩く時は端を友だちと2組で手を繋ぎ、前の人と間をあけずに進む						○				
棒を持って走り回るので注意している						○		○		
部屋では危険なので、走らない				○		○				
部屋の中ではボールをけらないように声をかけています						○		○		
廊下を走っての正面衝突						○				

表4:子どもの不便さと特性の関連・保育士等

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
プール										
プールでは走らない(地面がぬれていてすべるので)				○						
プール遊びでは、その日の体温、体調を見て入れていきます								○		
子どもがおぼれないように常に見ています水に入り過ぎて、体が冷たくなるので様子を見ながら、休憩したりしています			○					○		
水に入る前に体を良く動かし、お尻を洗ってから入れますそして、プールサイドは滑りやすいのでシートをひいています				○						
飛び込みをせず静かに入る				○	○					
着衣										
靴下の裏表がわからない								○		
ズボン(スカート)から下着がでていても気にしない								○		
衣服の前後の意識はあるものの完璧には出来ない								○		
今の服(靴)はデザイン重視の物が多いので、子どもが一人で着脱しにくくなってきている(パンツなどバックプリントが多いが、子どもはプリントが前だと思っている)				○				○		
脱いだ衣服を裏返し直すことが難しい					○					
服(ズボン)の中にTシャツが入れられない				○	○					
服のたたみ方、ジッパーのやり方、靴下・洋服の裏返しのおし方					○					
服の前後、裏表がわからない								○		
片足をあげてパンツ・ズボンを履くことが難しい				○						
コートジッパー					○					
シャツのボタンをはずしてうでまくりをする					○					
チャックができない					○					
ちょうちょ結び					○					
服のボタンがとめられない					○					
服の一番上のボタンや小さいボタンは難しい					○					
靴										
靴のひもがきちんと結べない					○					
靴の左右がわからない					○					
靴はかかとを踏まず、きちんと履かせる				○						
右左の判断								○		
しゃがむことができなくて、お尻をべったり下ろしてしまうその為に靴をはくときに座り込んでしまう			○							
食事										
おはしの持ち方、使い方					○					
こぼさずにきれいに食べられない					○					
こぼした後のしまつ					○			○		
犬食が多い					○			○		
左手を使わない子が多い(犬食いの傾向がある)					○			○		

表4:子どもの不便さと特性の関連・保育士等

回答	体が小さい	力が弱い	体力がない	体が不器用	手先が不器用	注意力散漫	好奇心	知識・判断	その他	大人にとって
食器を持たない、手を添えない					○			○		
食後は、おしぼりで口や手をふくようにしています					○			○		
食事後のフルーツではさくやいよかんのような厚皮の物の皮むきがやりにくそう					○					
落としたものを拾おうとしない								○		
お弁当箱のふたが閉められない					○					
お弁当包みの布をきちんと結ぶことができない					○					
弁当つつみを年少はボタン、年中はちょうちょ結び、年長はふるしきつつみと変えて、練習してできるようになってきています					○					
分かりやすい工夫										
7クラスあるので各クラス色分けされていますおもちゃ、机、イス等にもクラス名がかいてあり、どこに落としても誰かが届けてくれます								○		
散歩時にはクラス帽子をかぶる		○						○		
いすがまっすぐ並べられるようにビニールテープで印をつけている								○		
お片づけの時間がわかるように手作り時計を利用している								○		
角にガードをしたり、やすりをかけ危険を回避する						○		○		
危ないことでも大人がやってみせて、扱い方を説明(年齢に応じて)しています								○		
公園やプールの前にはそこでのルールや使い方を必ず知らせるようにしている								○		
使用する前、使用中に、正しい使い方・あそび方等、知らせる								○		
危険な所や入ってはいけない所などラインを引いて知らせることもある								○		
使ったものは片付けてから、次ぎの行動をする						○		○		
牛乳パックなどを使い、ままごとなどのおもちゃを自分達で片づけられるよう環境整備をしている								○		
子どもたちが共同で使う物は小分けにしてビニールテープなどで色分けしている								○		
大型積み木の片づけるために「ここの中へ～」の囲いをビニールテープでつけている								○		
コンクリートの階段や重い扉などは個人が生活していくうえで乗り越えられる様そのままになっていますコンセントにはカバーをつけています								○		
はさみ、自由画帳、クレヨンはお自分のひきだしにしまい、各自で管理しています								○		
自分の物がわかるように個人マークがある(EXロッカー、お手拭きタオル掛け、着替えのカゴ等)								○		
年少は名前の横に個人のマーク(花、動物)をつけている								○		
年少時はマークをつけていたが、年中になったら全てひらがなで下の名前のみを見て区別します(たなもフックもはさみもクレヨンも)								○		
年長では、はさみ、えんぴつは個人のものとし、ひきだしへ入れ自分で管理するようにしている								○		

資料5: 子どもの体の成長と運動能力の推移

(青少年白書より)

乳幼児の身長・体重の平均値

	昭和35年		45年		55年		平成2年		
	身長 (cm)	体重 (kg)	身長 (cm)	体重 (kg)	身長 (cm)	体重 (kg)	身長 (cm)	体重 (kg)	
1 歳	男子	74.1	9.1	75.4	9.5	75.5	9.71	75.4	9.58
	0～1月未満 女子	72.7	8.5	74.2	9.1	74.1	9.09	74.2	9.04
6～7月未満	1 歳 男子	79.4	10.2	80.8	10.6	81.0	10.73	81.5	10.75
	女子	77.8	9.6	79.5	10.0	79.9	10.29	80.3	10.14
2 歳	0～6月未満 男子	85.0	11.6	87.1	12.3	87.2	12.18	87.4	12.33
	女子	83.7	11.1	86.1	11.7	86.3	11.89	86.0	11.72
3 歳	0～6月未満 男子	91.9	13.3	94.4	14.1	94.8	14.28	95.0	14.32
	女子	90.7	12.9	93.0	13.4	93.9	13.86	94.0	13.83
4 歳	0～6月未満 男子	98.2	15.0	101.2	15.8	101.5	16.12	102.1	16.24
	女子	97.3	14.6	99.8	15.2	100.9	15.76	101.3	15.88
5 歳	0～6月未満 男子	104.4	16.6	107.1	17.4	107.6	17.91	108.6	18.27
	女子	103.3	16.2	106.2	17.0	107.1	17.55	107.9	17.99

資料：厚生省「乳幼児身体発育調査」

年齢別身長・体重・座高の全国平均値

区 分	身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)		
	男	女	男	女	男	女	
小 学 校	6 歳	116.8	115.9	21.7	21.3	65.1	64.7
	7	122.5	121.7	24.4	23.8	67.8	67.4
	8	128.2	127.5	27.7	27.0	70.4	70.1
	9	133.6	133.5	31.3	30.6	72.8	72.9
	10	139.1	140.4	35.0	35.0	75.2	76.2
中 学 校	11	145.3	147.0	39.4	40.1	77.9	79.5
	12 歳	152.7	152.1	44.9	44.9	81.4	82.3
	13	159.9	155.3	50.2	48.3	84.9	83.9
高 等 学 校	14	165.3	156.8	55.2	50.6	87.8	84.7
	15 歳	168.5	157.4	59.7	52.1	89.8	85.1
	16	170.2	157.9	61.3	53.1	90.8	85.2
	17	170.9	158.1	62.7	53.1	91.3	85.2

(注) 年齢は、平成10年4月1日現在の満年齢である。

資料：文部省「学校保健統計調査報告書」(平成10年度)

年齢別各テスト項目の結果

年 齢	握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		20mシャトル ラン (折り返し数)		持久走 (秒)		50 m 走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ボール投げ (m)	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
6	9.74	8.89	10.71	10.05	26.62	28.23	25.60	24.92	16.99	15.25			11.64	11.92	116.24	106.64	9.62	5.99
7	11.58	10.62	12.99	12.49	27.74	29.93	29.05	28.20	26.02	21.31			10.78	11.02	128.45	120.36	13.36	7.94
8	13.70	12.62	14.31	13.07	29.26	31.71	32.51	30.71	32.95	25.33			10.22	10.51	139.72	130.67	17.28	10.07
9	15.88	14.70	15.81	14.43	31.35	34.38	36.35	34.01	40.77	32.39			9.68	9.95	149.07	140.17	22.06	12.64
10	17.83	17.04	17.25	15.69	33.54	37.26	38.44	35.98	45.89	36.72			9.31	9.60	156.51	149.10	25.75	14.98
11	20.98	19.93	19.02	16.28	35.56	39.16	41.31	38.22	52.98	41.49			8.93	9.26	168.87	156.60	29.77	17.49
12	25.93	22.36	21.33	16.99	37.67	41.52	44.61	40.37	63.33	44.60	428.02	296.00	8.46	9.01	185.03	163.75	19.30	12.76
13	31.45	24.51	23.45	18.15	40.62	43.33	46.91	41.22	75.35	50.28	393.26	294.11	8.00	8.82	197.86	167.19	21.89	13.91
14	37.16	25.82	25.16	18.19	43.50	44.34	49.45	42.03	84.82	51.11	381.44	294.12	7.61	8.79	213.07	169.11	24.64	14.71
15	39.69	26.45	24.51	17.57	43.61	44.37	48.03	40.78	75.08	43.68	377.55	309.24	7.63	9.07	216.97	166.49	25.25	14.64
16	42.36	26.79	25.46	18.52	44.43	44.75	48.68	41.10	77.56	45.71	378.35	300.21	7.51	9.06	223.49	168.36	26.35	15.10
17	43.72	27.44	25.80	18.15	45.36	45.54	49.85	41.42	80.30	45.94	376.64	306.65	7.35	9.07	227.14	168.34	27.26	15.40
18	44.37	27.99	24.98	17.40	45.28	46.18	50.20	42.50	74.27	43.71	415.05	321.04	7.57	9.24	226.45	165.35	26.53	14.50
19	45.16	28.22	26.16	18.01	46.15	46.75	51.85	44.04	79.11	45.51	400.45	309.58	7.42	9.19	231.07	166.54	27.14	14.72

資料：文部省体育局「体力・運動能力調査」(平成10年度)

調査実施 及び 報告書作成メンバー
(50音順)

大滝 祥子
小松 聰子
近藤 美恵
関根 千佳
寺田 幸弘
万代 善久
宮垣 健生

この報告書の作成にあたり、グループインタビュー参加者、
アンケート回答者をはじめ多数の方々にご協力頂きました。
この場を借りてお礼を申し上げます。
有難うございました。

この調査は、「(財)日本児童教育振興財団」
平成12年度の研究助成による。

子どもの不便さ調査

2001年3月30日 発行

発行：財団法人 共用品推進機構

住所：東京都千代田区猿楽町2-5-4 OGAビル

電話：03-5280-0020

FAX：03-5280-2373

ホームページ：<http://kyoyohin.org/>

制作：財団法人共用品推進機構

個人賛助会員の会 東京会議 子ども班